# オリエンタルモーター株式会社
# ネットワークコンバータ
# NETCO2-CC

# サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

## サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

(1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。

(2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。

(3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。

(4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。

(5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は､その条件にも従ってください。

(6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。

(7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては､対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に､安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

# 目次


改訂履歴 ..... 5

1. 概要 ..... 6

2. システム構成 ..... 6

3. GOT について ..... 7

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション ..... 7
3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定 ..... 7
3.3 作画ソフトウェアの Ethernet の設定 ..... 7
3.4 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定 ..... 7

4. CC-Link ユニット(Q シリーズ)について ..... 8

4.1 シーケンサエンジニアリングソフトウェアのネットワークパラメータ設定 ..... 8
4.2 ネットワークパラメータの局情報設定 ..... 8

5. ネットワークコンバータとドライバについて ..... 9

5.1 ネットワークコンバータの通信設定 ..... 9
5.2 AC 電源ドライバの通信設定 ..... 9
5.3 DC 電源ドライバの通信設定 ..... 9
5.4 サンプルの適用対象ドライバ ..... 9

6. 画面仕様 ..... 10

6.1 表示言語 ..... 10
6.2 画面一覧・遷移 ..... 10
6.3 画面説明 ..... 15
6.3.1 AC/DC 選択画面(B-30001) ..... 15
6.3.2 メニュー(B-30002) ..... 16
6.3.3 運転データ(B-31002) ..... 17
6.3.4 パラメータメニュー1(B-30003) ..... 19
6.3.5 パラメータ I/O(B-31004) ..... 20
6.3.6 パラメータ モーター(B-31005) ..... 21
6.3.7 パラメータ 運転(B-31006) ..... 22
6.3.8 パラメータ 原点復帰(B-31007) ..... 23
6.3.9 パラメータ アラーム&ワーニング(B-31008) ..... 24
6.3.10 パラメータメニュー2(B-30004) ..... 25
6.3.11 パラメータ 座標(B-31010) ..... 26
6.3.12 パラメータ 共通(B-31011) ..... 27
6.3.13 パラメータ I/O 機能(B-31012) ..... 28
6.3.14 パラメータ I/O 機能 RS-485(B-31013) ..... 29
6.3.15 パラメータ 通信(B-31014) ..... 30
6.3.16 モニタメニュー(B-30005) ..... 31
6.3.17 モニタ ステータス(B-31015) ..... 32
6.3.18 モニタ I/O モニタ(B-31016) ..... 33
6.3.19 モニタ アラーム履歴(B-31018) ..... 34
6.3.20 モニタ ワーニング履歴(B-31019) ..... 35
6.3.21 マニュアル表示(B-30500) ..... 36
6.3.22 テスト マルチ運転(B-31022～31025) ..... 38
6.3.23 システム データ管理(B-31030) ..... 40
6.3.24 アラームリセット(W-30001) ..... 41
6.3.25 言語設定(W-30002) ..... 42

6.3.26 時計設定(W-30003) ..... 43
6.3.27 軸切り換え(W-30004) ..... 44
6.3.28 読み出し中ダイアログ(W-30010) ..... 45
6.3.29 書き込み中ダイアログ(W-30011) ..... 46
6.3.30 読み出しエラーダイアログ(W-30012) ..... 47
6.3.31 書き込みエラーダイアログ(W-30013) ..... 48
6.3.32 運転データ入力(W-32001) ..... 49
6.3.33 STOP 入力停止方法(W-32002) ..... 50
6.3.34 原点復帰方法(W-32003) ..... 51
6.3.35 IN 入力機能選択(W-32004) ..... 52
6.3.36 NET-IN 入力機能選択(W-32005) ..... 53
6.3.37 OUT/NET-OUT 出力機能選択(W-32006) ..... 54
6.4 使用デバイス一覧 ..... 55
6.5 コメント一覧 ..... 62
6.6 スクリプト一覧 ..... 63

7. マニュアル表示について ..... 77
7.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備 ..... 77

8. その他 ..... 78
8.1 ラダープログラム ..... 78

## 改訂履歴

### サンプル画面説明書

| 改訂日付 | 管理番号* | 改訂内容 |
|---|---|---|
| 2015/7 | BCN-P5999-0566 | 初版 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

＊ 管理番号は、右下に記載しています。

### プロジェクトデータ

| 改訂日付 | プロジェクトデータ | GT Designer3* | 改訂内容 |
|---|---|---|---|
| 2015/7 | ORIENTAL_NETC02-CC_V_Ver1_J.GTX | 1.131M | 初版 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

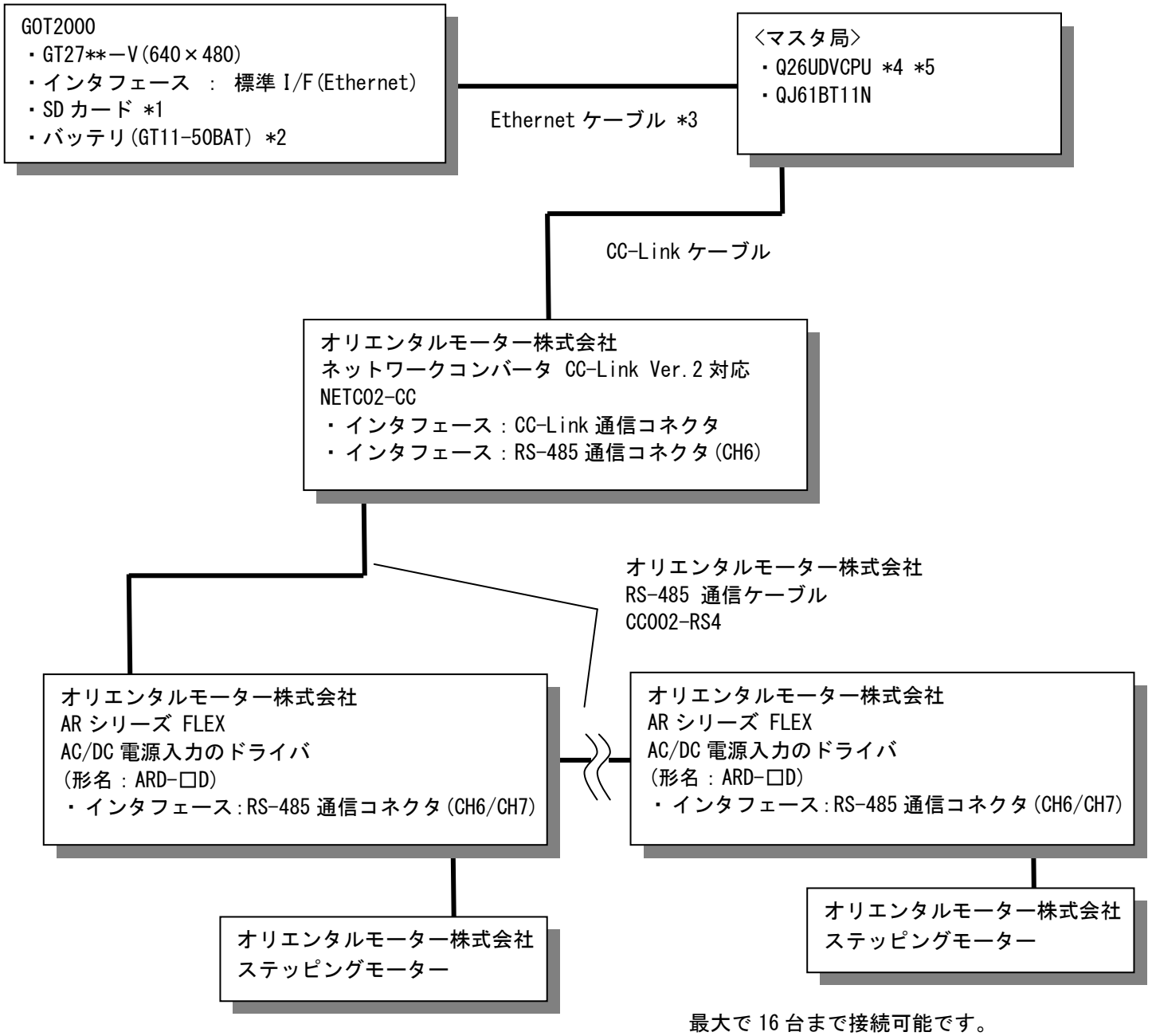
＊ プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

## 1. 概要

GOT2000 と MELSEC-Q シリーズシーケンサを Ethernet で接続し、シーケンサからオリエンタルモーター株式会社ネットワークコンバータ NETCO2-CC を CC-Link で経由して、オリエンタルモーター株式会社 AR シリーズ FLEX のドライバ(ARD-□D)と接続し、ステッピングモーターの現在値や設定値のモニタ、変更を行うサンプル画面の説明書です。

## 2. システム構成

### 2.1 システム構成




最大で 16 台まで接続可能です。

*1：SD カードは、ドキュメント表示機能で使用しています。
*2：バッテリは、時計データの停電保持に使用しています。(バッテリは GOT 本体に標準装備しています。)
*3：ケーブルの詳細については、「GOT2000シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)」を参照してください。
*4：ラダープログラムの容量が大きいため、Q26UDVCPUを使用してください。Q26UDVCPUより小さい容量のCPUを使用する場合は、使用する画面を限定し、その画面で使用するラダープログラムを切り出してください。
*5：ラダープログラムは下記フォルダに同梱しています。
〈作画ソフトウェアのインストール先パス〉¥GTD3_2000¥App¥SampleProject

# 3. GOT について

## 3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

| 種類 | システムアプリケーションの名称 | | |
|---|---|---|---|
| 基本機能 | 基本システムアプリケーション | | |
| | 標準フォント | 日本語 | |
| 通信ドライバ | Ethernet 接続 | | Ethernet(MELSEC), Q17nNC, CRnD-700, ゲートウェイ |
| 拡張機能 | 標準フォント | | 中国語(簡体) |
| | アウトラインフォント | ゴシック | 英数かな |
| | | | 日本語漢字 |
| | | | 中国(簡体)漢字 |
| | ドキュメント表示 | | |

## 3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定

| 項　目 | 設定値 | 備 考 |
|---|---|---|
| GOT NET No. | 1 | |
| GOT 局番 | 1 | |
| GOT Ethernet 設定 | 下表を参照 | |
| GOT 機器通信用ポート No. | 5001 | |
| リトライ回数(回) | 3 | |
| 立ち上がり時間(秒) | 3 | |
| 通信タイムアウト時間(秒) | 3 | |
| 送信ディレイ時間(ms) | 0 | |

GOT Ethernet 設定

| 項　目 | 設定値 | 備 考 |
|---|---|---|
| GOT Ethernet 設定を本体に反映する | チェック有り | |
| GOT IP アドレス | 192.168.3.18 | |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 | |
| デフォルトゲートウェイ | 0.0.0.0 | |
| 周辺 S/W 通信用ポート No. | 5015 | |
| トランスペアレント用ポート No. | 5014 | |

## 3.3 作画ソフトウェアの Ethernet の設定

| | 自局 | Net No. | 局番 | 機器 | IP アドレス | ポート No. | 通信方式 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | * | 1 | 2 | QnUD(P)V/QnUDEH | 192.168.3.39 | 5006 | UDP |

## 3.4 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定

ベース画面の切り換え時にウィンドウ画面を閉じるために、[画面切り換え/ウィンドウ]のオーバーラップウィンドウの[詳細設定]で[ベース画面の切り換えと同時にウィンドウを閉じる]を有効にしています。

# 4. CC-Link ユニット(Q シリーズ)について

## 4.1 シーケンサエンジニアリングソフトウェアのネットワークパラメータ設定

| 項　目 | 設定値 | 備 考 |
|---|---|---|
| ユニット枚数 | 1 | |
| 先頭 I/O No. | 0000H | |
| 動作設定 | サイクリックデータ局単位ブロック保証設定を有効にする | |
| 種別 | マスタ局 | |
| モード設定 | リモートネット Ver.2 モード | |
| 総接続台数 | 1 | |
| リモート入力(RX) | X1000 | |
| リモート出力(RY) | Y1000 | |
| リモートレジスタ(RWr) | W0 | |
| リモートレジスタ(RWw) | W1000 | |
| 特殊リレー(SB) | SB0 | |
| 特殊レジスタ(SW) | SW0 | |
| リトライ回数 | デフォルト値を使用 | |
| 自動復列台数 | | |
| 待機マスタ局番号 | | |
| CPU ダウン指定 | | |
| スキャンモード指定 | | |
| ディレイ時間設定 | | |
| 局情報設定 | 4.2 参照 | |
| リモートデバイス局イニシャル設定 | デフォルト値を使用 | |
| 割込み設定 | | |

## 4.2 ネットワークパラメータの局情報設定

| 項　目 | 設定値 | 備 考 |
|---|---|---|
| 局種別 | Ver.2 リモートデバイス局 | |
| 拡張サイクリック設定 | 4 倍設定 | |
| 占有局数 | 4 局占有 | |
| リモート局点数 | 448 点 | |
| 予約/無効局指定 | 設定なし | |

# 5. ネットワークコンバータとドライバについて

## 5.1 ネットワークコンバータの通信設定

弊社で動作確認した際の設定値は下記となります。

(1)　ネットワークコンバータのディップスイッチ、ロータリスイッチの設定

| 項目 | 設定値 | 備考 |
|---|---|---|
| RS-485 通信接続台数設定スイッチ(N-AXIS) | N-AXIS=1 | 接続台数 1 台 |
| CC-Link 局番設定スイッチ(STATION No.) | STATION No.=1 | 局番 1 |
| CC-Link伝送ボーレート設定スイッチ(B-RATE) | B-RATE=4 | 10Mbps |
| 機能設定スイッチ(SW4) | No.2=ON | 拡張サイクリック設定 4倍 |

## 5.2 AC 電源ドライバの通信設定

弊社で動作確認した際の設定値は下記となります。

(1)　パラメータの設定

| 項目 | 設定値 | 備考 |
|---|---|---|
| 通信ストップビット | 1 bit | |
| 通信パリティ | 偶数 | |

(2)　ドライバのディップスイッチ、ロータリスイッチの設定

| 項目 | 設定値 | 備考 |
|---|---|---|
| 号機設定スイッチ(ID) | ID=0 | 接続するドライバごとに値を変更 |
| 通信速度設定スイッチ(SW2) | SW2=7 | 625000bps |
| 機能設定スイッチ(SW4) | No.1、No.2=OFF | OFF：ネットワークコンバータを選択 |
| 終端抵抗設定スイッチ(TERM.) | No.1、No.2=OFF | 最終端のドライバのみ終端抵抗をON に設定する |

## 5.3 DC 電源ドライバの通信設定

弊社で動作確認した際の設定値は下記となります。

(1)　パラメータの設定

| 項目 | 設定値 | 備考 |
|---|---|---|
| 通信ストップビット | 1 bit | |
| 通信パリティ | 偶数 | |

(2)　ドライバのディップスイッチ、ロータリスイッチの設定

| 項目 | 設定値 | 備考 |
|---|---|---|
| 号機設定スイッチ(SW1) | ID=0 | 接続するドライバごとに値を変更 |
| 通信速度設定スイッチ(SW2) | SW2=7 | 625000bps |
| 機能設定スイッチ(SW3 No.2) | No.2=OFF | OFF：ネットワークコンバータを選択 |
| 終端抵抗設定スイッチ(SW3 No.4) | No.4=ON | 最終端のドライバのみ終端抵抗をON に設定する |

## 5.4 サンプルの適用対象ドライバ

サンプルは、以下の製造年月日もしくはドライババージョンのドライバに対応しています。

(1)　製造年月日

2014 年 1 月以降

*製造年月日は、ドライバの銘板に記載しています。

(2)　ドライババージョン

AC 電源入力ドライバ：Ver.2.00 以降

DC 電源入力ドライバ：Ver.2.01 以降

*ドライババージョンは、データ設定ソフト MEXE02 のステータス,I/O モニタで確認できます。

# 6. 画面仕様

## 6.1 表示言語

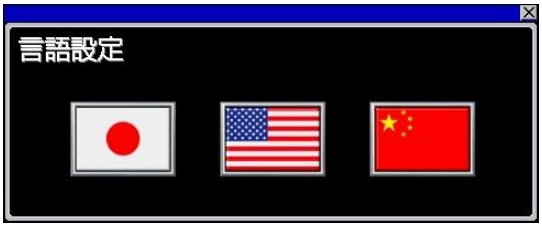
画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の 3 言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No.497～500 の列 No.1～3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No.を格納すると列 No.に対応した言語を表示します。

| 列 No. | 言語 |
|---|---|
| 1 | 日本語 |
| 2 | 英語 |
| 3 | 中国語(簡体) |

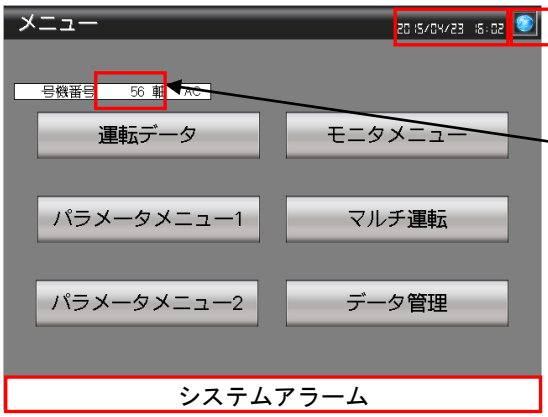
## 6.2 画面一覧・遷移

### 6.2.1 画面一覧・遷移(共通)

ウィンドウ画面 W-30003：時計設定




ウィンドウ画面 W-30002:言語設定

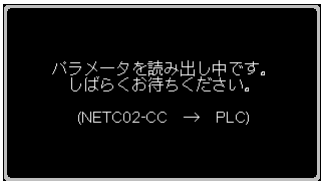



ベース画面：全ベース画面

ウィンドウ画面 W-30004:軸切り換え(B-30001 と B-31022～31025 以外)

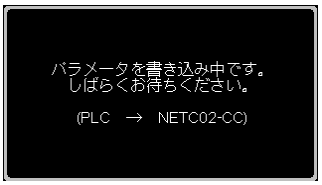
ウィンドウ画面 W-30001：アラームリセット

ベース画面：運転データ・パラメータ・
モニタ(I/O)・テスト運転




ウィンドウ画面 W-30010：
読み出し中ダイアログ

ウィンドウ画面 W-30012：
読み出しエラーダイアログ

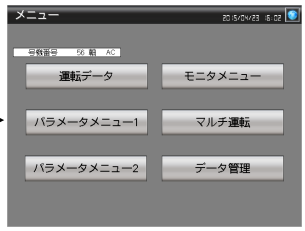



ウィンドウ画面 W-30011：
書き込み中ダイアログ

ウィンドウ画面 W-30013：
書き込みエラーダイアログ

## 6.2.2 画面一覧・遷移(個別)

ベース画面 B-30001：AC/DC 選択画面



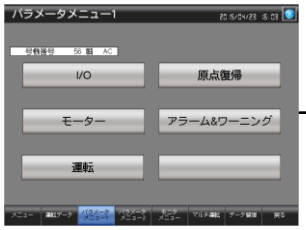

ベース画面 B-30002：メニュー

ベース画面 B-31002：運転データ

ウィンドウ画面 W-32001：
運転データ入力

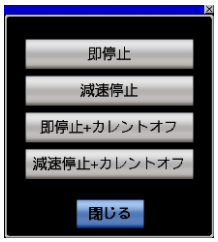
次項へ

前項より




ベース画面 B-30003：
パラメータメニュー1

ベース画面 B-31004：
パラメータ I/O

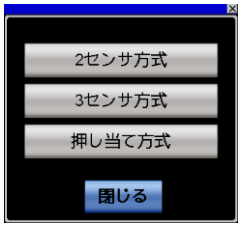



ウィンドウ画面 W-32002：
STOP 入力停止方法

ベース画面 B-31005：
パラメータ モーター

ベース画面 B-31006：
パラメータ 運転

ベース画面 B-31007：
パラメータ 原点復帰

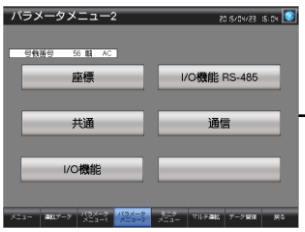



ウィンドウ画面 W-32003：
原点復帰方法

ベース画面 B-31008：
パラメータ アラーム&ワーニング

次項へ

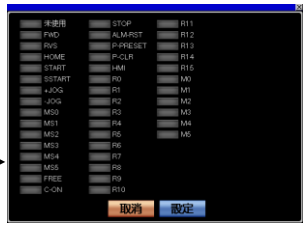
前項より




ベース画面 B-30004：
パラメータメニュー2

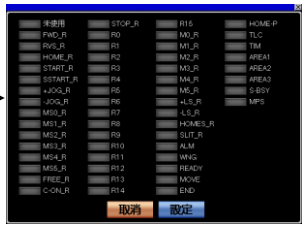
ベース画面 B-31010：
パラメータ 座標

ベース画面 B-31011：
パラメータ 共通




ウィンドウ画面 W-32004：
IN 入力機能選択

ベース画面 B-31012：
パラメータ I/O 機能




ウィンドウ画面 W-32006：
OUT/NET-OUT 出力機能選択

ベース画面 B-31013：
パラメータ I/O 機能 RS-485

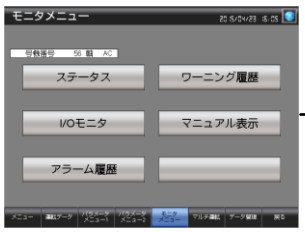
ウィンドウ画面 W-32005：
NET-IN 入力機能選択

ベース画面 B-31014：
パラメータ 通信

ウィンドウ画面 W-32006：
OUT/NET-OUT 出力機能選択

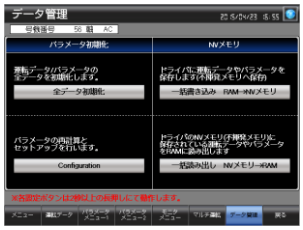
次項へ

前項より




ベース画面 B-30005：
モニタメニュー

ベース画面 B-31022～31025：
テスト マルチ運転




ベース画面 B-31030：
システム データ管理

ベース画面 B-31015：
モニタ ステータス

ベース画面 B-31016：
モニタ I/O モニタ

ベース画面 B-31018：
モニタ アラーム履歴

ベース画面 B-31019：
モニタ ワーニング履歴

ベース画面 B-30500：
マニュアル表示

## 6.3 画面説明

### 6.3.1 AC/DC 選択画面(B-30001)

**概要**

AC/DC 電源を指定します。

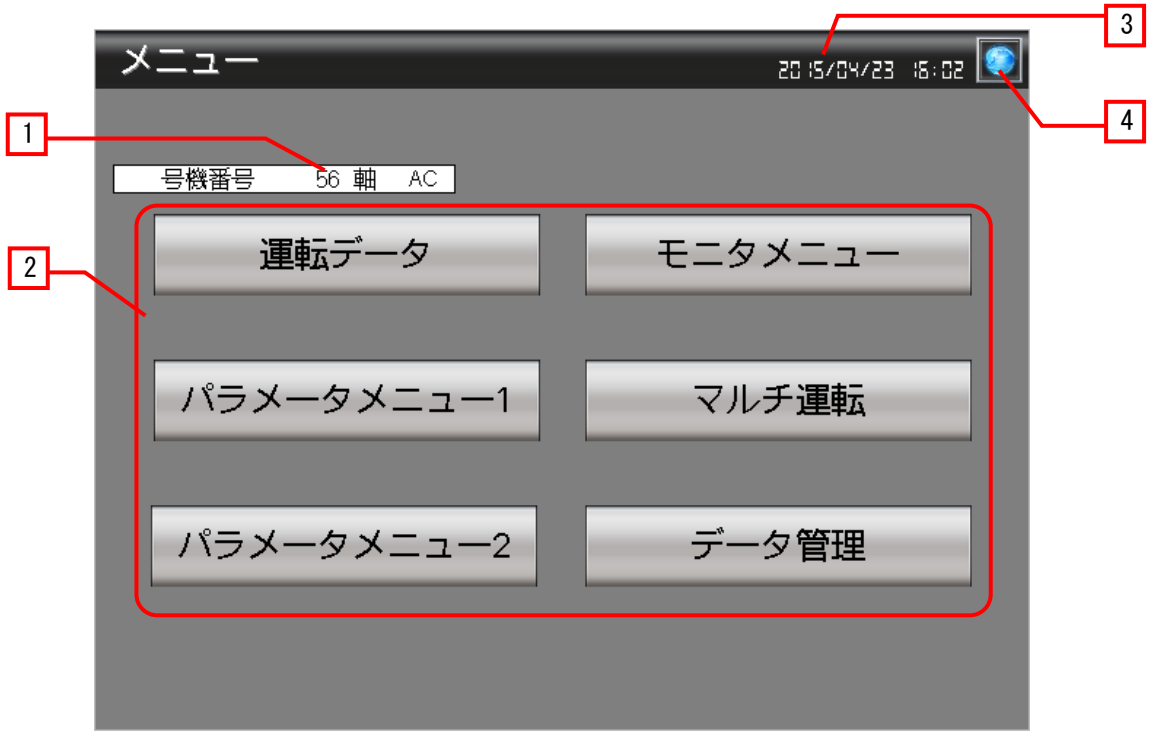
**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、号機番号を変更できます。
2. モニタするドライバの電源タイプを指定します。
3. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
4. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにて号機番号に「0」を設定しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.2 メニュー(B-30002)




**概要**

メニュー画面です。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 各画面に切り換えます。
3. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
4. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.3 運転データ (B-31002)

**概要**

ドライバの運転データを表示・変更します。また、ステッピングモーターを操作します。

**詳細**

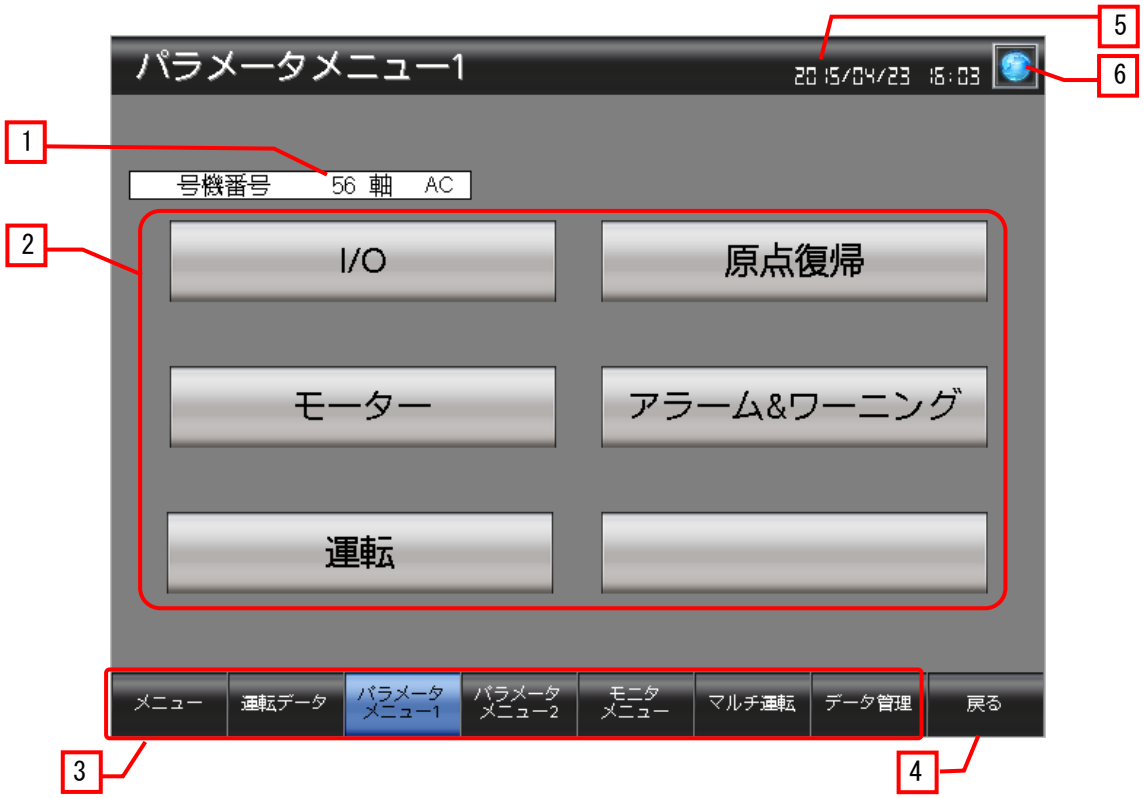
1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 運転データを表示します。タッチした運転データ No.の運転データを運転データ入力ウィンドウから設定できます。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. モーターの指令位置と指令速度を表示します。
4. ティーチング運転を開始するにチェックを入れると、ティーチング運転を開始します。
   - 最小移動量 : モーターが動く最小移動量の設定ができます。
   - 運転データ No. : 運転データ No.を選択します。
   - ◀ ▶ : スイッチを押している間、正転・逆転の連続運転をします。運転データ No.0～7で選択した No.の運転速度、加速、減速になります。上記以外の運転データ No.を選択中は動作しません。
   - − + : モーターの位置を調整します。最小移動量で設定した移動量分だけモーターが動きます。
   - 停止 : 運転中のモーターを停止します。
   - アラーム : 発生中のアラームを表示します。
   - アラームリセット : 発生しているアラームをリセットします。
   - 位置決め運転 : 運転データ No.で選択した No.で位置決め運転を実行します。
   - 原点復帰運転 : 原点復帰運転を開始します。
   - 位置確定 : モーターがいる位置を運転データ No.で選択した No.の位置に反映します。また、運転方式をアブソリュート(ABS)に変更します。
   - 位置プリセット : 指令位置を任意の値にプリセットします。プリセットする値は、パラメータ 座標「プリセット位置」の項目で変更できます。
5. 運転データをスクロールします。
   - ▲ : 1件毎に、上へスクロールします。
   - ▼ : 1件毎に、下へスクロールします
6. 運転データの読み出しをします。

7. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・モニタ関係のデータを読み出すための実行トリガの制御にプロジェクトスクリプトを使用しています。また、画面遷移時に自動で運転データの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ティーチング運転で、加速、減速が選択した運転データの設定に変わるのは、加減速選択パラメータの設定が独立になっている時のみとなります。
・ティーチング運転中は他画面に切り換えることや号機番号の変更はできません。
・＋ボタン、－ボタンで、モーターの位置を調整させるために、運転データ No.63 の設定値をラダーで変更しています。運転データ No.63 は、このサンプル画面では、ご利用できません。
・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.4 パラメータメニュー1(B-30003)




**概要**

パラメータメニュー1 画面です。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 各画面に切り換えます。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 前回表示していた画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.5 パラメータ I/O(B-31004)

**概要**

I/O に関するパラメータを表示、編集します。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. I/O に関するパラメータを表示、編集します。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. I/O に関する全パラメータの読み出しを実行します。
4. I/O に関する全パラメータの書き込みを実行します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・パラメータの設定範囲は、電源のタイプによって異なる箇所があります。詳細は、ドライバの取扱説明書を参照してください。
・LS 接点設定、HOMES 接点設定、SLIT 接点設定を変更した場合は、必ず「Configuration」コマンドを実行してください。「Configuration」コマンドを実行しないと、変更した設定は、反映されません。「Configuration」コマンドは、データ管理画面で、実行できます。
・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.6 パラメータ モーター(B-31005)

**概要**

モーターに関するパラメータを表示、編集します。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. モーターに関するパラメータを表示、編集します。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. モーターに関する全パラメータの読み出しを実行します。
4. モーターに関する全パラメータの書き込みを実行します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- 画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- パラメータの設定範囲は、電源のタイプによって異なる箇所があります。詳細は、ドライバの取扱説明書を参照してください。
- フィルタ選択、制御モード、スムースドライブを変更した場合は、必ず「Configuration」コマンドを実行してください。「Configuration」コマンドを実行しないと、変更した設定は、反映されません。「Configuration」コマンドは、データ管理画面で、実行できます。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.7 パラメータ 運転(B-31006)

**概要**

運転に関するパラメータを表示、編集します。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 運転に関するパラメータを表示、編集します。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. 運転に関する全パラメータの読み出しを実行します。
4. 運転に関する全パラメータの書き込みを実行します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- 画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- パラメータの設定範囲は、電源のタイプによって異なる箇所があります。詳細は、ドライバの取扱説明書を参照してください。
- 加減速単位、自動復帰動作を変更した場合は、必ず「Configuration」コマンドを実行してください。
  「Configuration」コマンドを実行しないと、変更した設定は、反映されません。
  「Configuration」コマンドは、データ管理画面で、実行できます。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.8 パラメータ 原点復帰(B-31007)

**概要**

原点復帰に関するパラメータを表示、編集します。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 原点復帰に関するパラメータを表示、編集します。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. 原点復帰に関する全パラメータの読み出しを実行します。
4. 原点復帰に関する全パラメータの書き込みを実行します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- 画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- パラメータの設定範囲は、電源のタイプによって異なる箇所があります。詳細は、ドライバの取扱説明書を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.9 パラメータ アラーム&ワーニング(B-31008)

**概要**

アラームとワーニングに関するパラメータを表示、編集します。

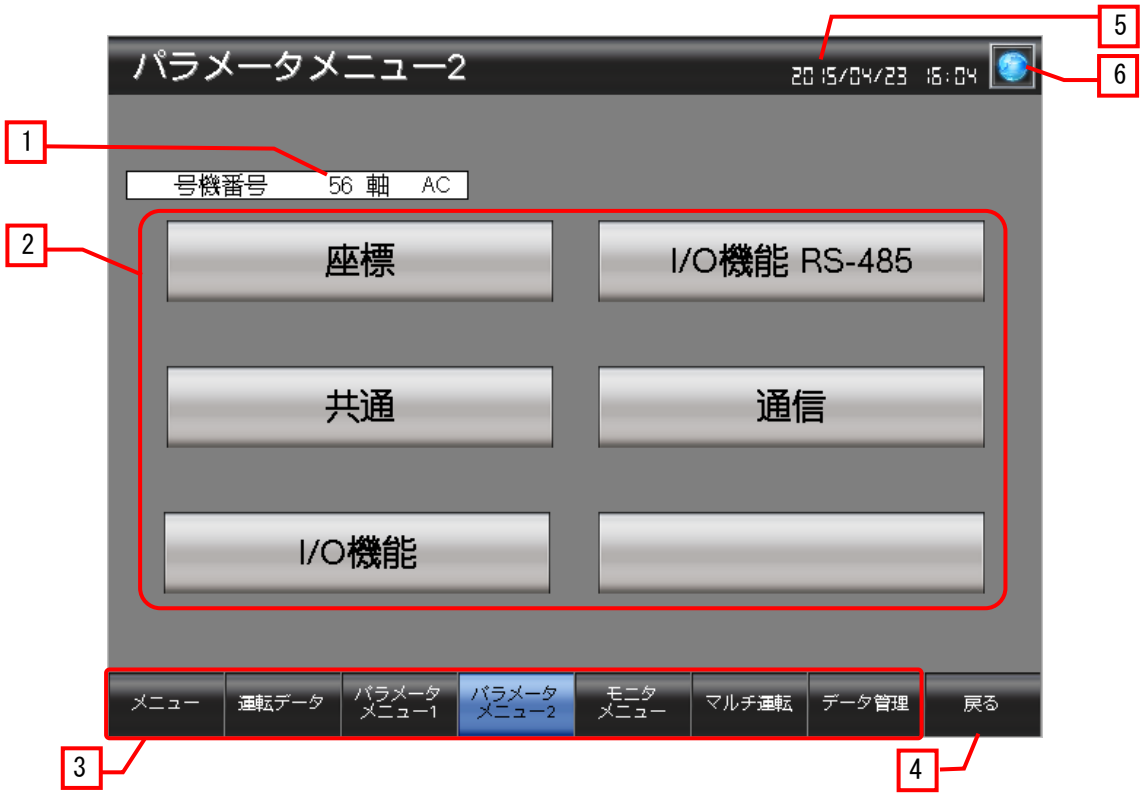
**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. アラームとワーニングに関するパラメータを表示、編集します。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. アラームとワーニングに関する全パラメータの読み出しを実行します。
4. アラームとワーニングに関する全パラメータの書き込みを実行します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- 画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- パラメータの設定範囲は、電源のタイプによって異なる箇所があります。詳細は、ドライバの取扱説明書を参照してください。
- 原点復帰未完了アラームを変更した場合は、必ず「Configuration」コマンドを実行してください。
  「Configuration」コマンドを実行しないと、変更した設定は、反映されません。
  「Configuration」コマンドは、データ管理画面で、実行できます。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.10 パラメータメニュー2(B-30004)




**概要**

パラメータメニュー2 画面です。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 各画面に切り換えます。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 前回表示していた画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.11 パラメータ 座標(B-31010)

**概要**

座標に関するパラメータを表示、編集します。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 座標に関するパラメータを表示、編集します。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. 座標に関する全パラメータの読み出しを実行します。
4. 座標に関する全パラメータの書き込みを実行します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- 画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- パラメータの設定範囲は、電源のタイプによって異なる箇所があります。詳細は、ドライバの取扱説明書を参照してください。
- 電子ギヤ A、電子ギヤ B、モーター回転方向、ラウンド設定、ラウンド設定範囲を変更した場合は、必ず「Configuration」コマンドを実行してください。「Configuration」コマンドを実行しないと、変更した設定は、反映されません。「Configuration」コマンドは、データ管理画面で、実行できます。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.12 パラメータ 共通(B-31011)

**概要**

共通に関するパラメータを表示、編集します。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 共通に関するパラメータを表示、編集します。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. 共通に関する全パラメータの読み出しを実行します。
4. 共通に関する全パラメータの書き込みを実行します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・パラメータの設定範囲は、電源のタイプによって異なる箇所があります。詳細は、ドライバの取扱説明書を参照してください。
・アブソリュートバックアップシステムを変更した場合は、必ず「Configuration」コマンドを実行してください。「Configuration」コマンドを実行しないと、変更した設定は、反映されません。
「Configuration」コマンドは、データ管理画面で、実行できます。
・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.13 パラメータ I/O 機能(B-31012)

**概要**

I/O 機能に関するパラメータを表示、編集します。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. I/O 機能に関するパラメータを表示、編集します。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. I/O 機能に関する全パラメータの読み出しを実行します。
4. I/O 機能に関する全パラメータの書き込みを実行します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・パラメータの設定範囲は、電源のタイプによって異なる箇所があります。詳細は、ドライバの取扱説明書を参照してください。
・I/O 機能のパラメータを変更した場合は、必ず「Configuration」コマンドを実行してください。
「Configuration」コマンドを実行しないと、変更した信号の機能は、反映されません。
「Configuration」コマンドは、データ管理画面で、実行できます。
・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

## 6.3.14 パラメータ I/O機能 RS-485(B-31013)

### 概要

I/O 機能 RS-485 に関するパラメータを表示、編集します。

### 詳細

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. I/O 機能 RS-485 に関するパラメータを表示、編集します。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. I/O 機能 RS-485 に関する全パラメータの読み出しを実行します。
4. I/O 機能 RS-485 に関する全パラメータの書き込みを実行します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

### 備考

・画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・パラメータの設定範囲は、電源のタイプによって異なる箇所があります。詳細は、ドライバの取扱説明書を参照してください。
・I/O 機能 RS-485 のパラメータを変更した場合は、必ず「Configuration」コマンドを実行してください。
「Configuration」コマンドを実行しないと、変更した信号の機能は、反映されません。
「Configuration」コマンドは、データ管理画面で、実行できます。
・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.15 パラメータ 通信(B-31014)

**概要**

通信に関するパラメータを表示、編集します。

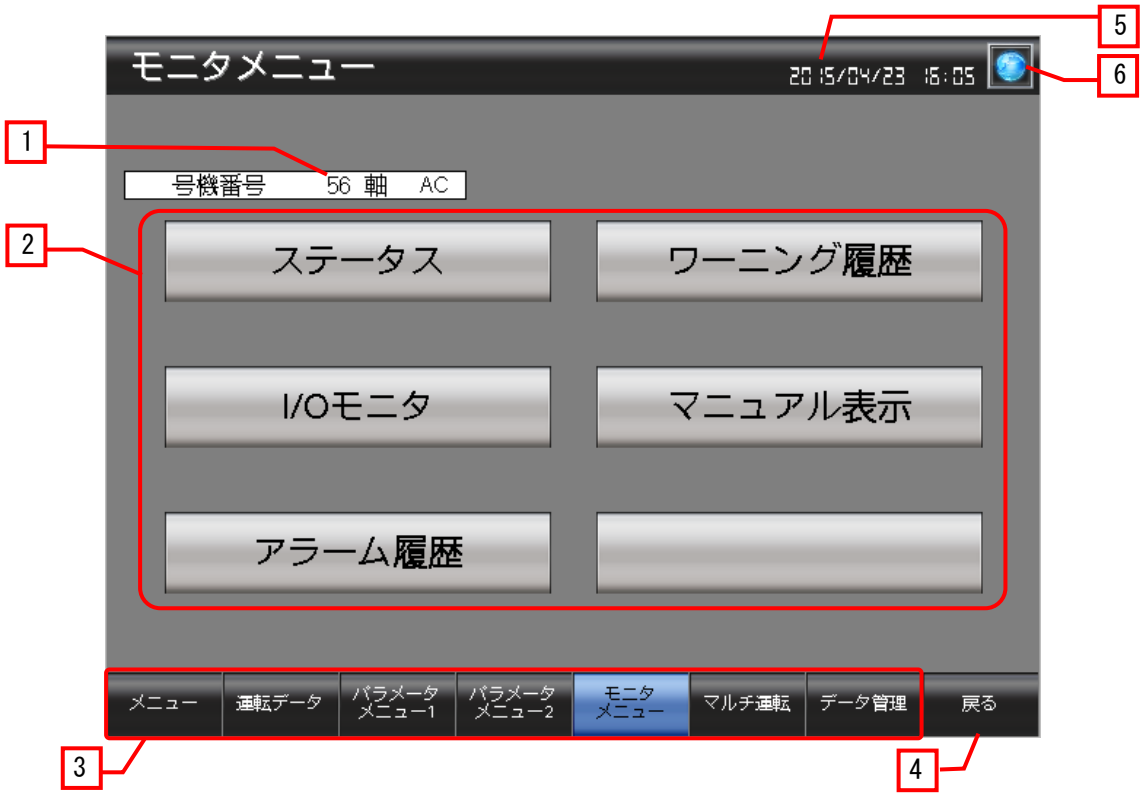
**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 通信に関するパラメータを表示、編集します。数値、文字が黄色の場合は、初期値をあらわしています。
3. 通信に関する全パラメータの読み出しを実行します。
4. 通信に関する全パラメータの書き込みを実行します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- 画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- パラメータの設定範囲は、電源のタイプによって異なる箇所があります。詳細は、ドライバの取扱説明書を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.16 モニタメニュー(B-30005)




**概要**

モニタメニュー画面です。

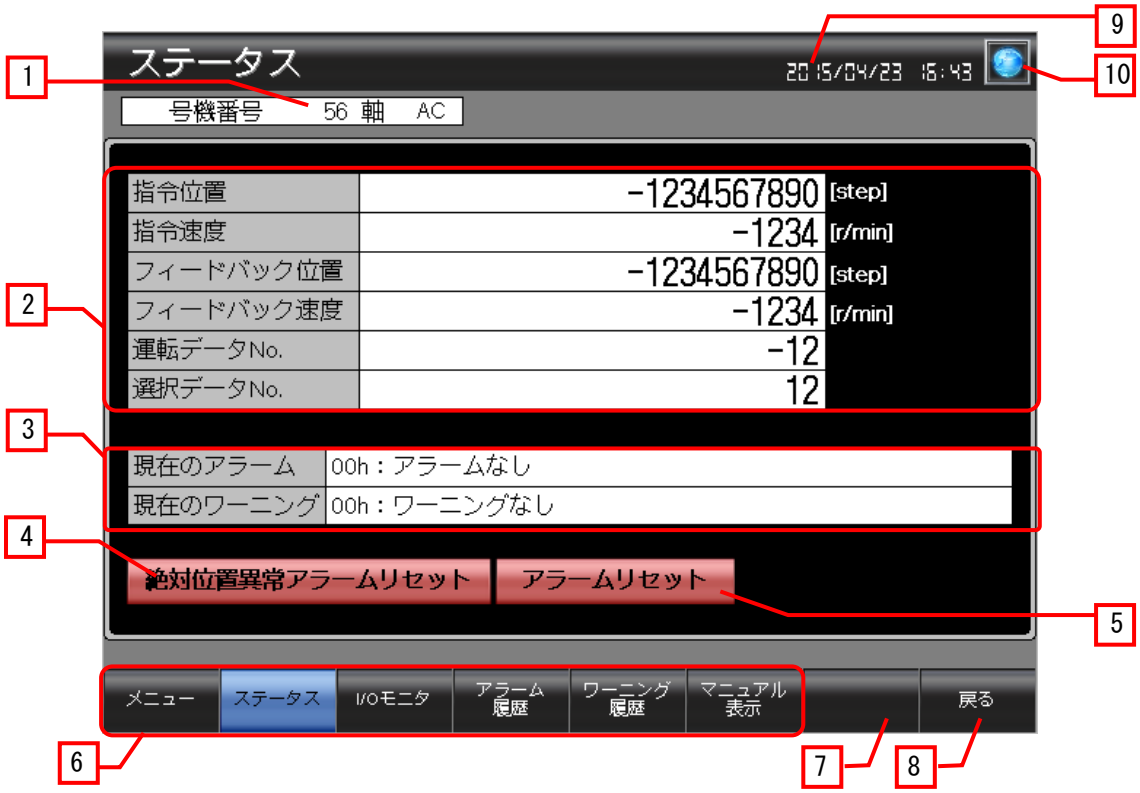
**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 各画面に切り換えます。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 前回表示していた画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.17 モニタ ステータス(B-31015)




**概要**

モーターのステータスをモニタします。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 各項目の状態を表示します。
3. 現在発生中のアラームとワーニングを表示します。
4. 絶対位置異常アラームをリセットします。リセット後、原点復帰運転などを実行し、原点を再設定してください。
5. 現在発生中のアラームをリセットします。
6. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
7. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- モニタ関係のデータを読み出すための実行トリガの制御にプロジェクトスクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.18 モニタ I/O モニタ (B-31016)

**概要**

I/O をモニタします。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. INPUT の状態を表示します。
3. I/O に割り付けされた機能を読み出します。
4. OUTPUT の状態を表示します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
7. 前回表示していた画面に切り換えます。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- モニタ関係のデータを読み出すための実行トリガの制御にプロジェクトスクリプトを使用しています。また、画面遷移時に自動でパラメータの読み出しの実行と、読み出し時に表示するダイアログウィンドウの制御は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.19 モニタ アラーム履歴(B-31018)

**概要**

アラーム履歴を表示します。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 現在発生中のアラームとワーニングを表示します。
3. アラームの履歴を表示します。
4. 絶対位置異常アラームをリセットします。リセット後、原点復帰運転などを実行し、原点を再設定してください。
5. 現在発生中のアラームをリセットします。
6. アラーム履歴をクリアします。
7. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
9. 前回表示していた画面に切り換えます。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
11. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- モニタ関係のデータを読み出すための実行トリガの制御にプロジェクトスクリプトを使用していますスクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.20 モニタ ワーニング履歴(B-31019)

**概要**

ワーニング履歴を表示します。

**詳細**

1. モニタするドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. 現在発生中のアラームとワーニングを表示します。
3. ワーニングの履歴を表示します。
4. 絶対位置異常アラームをリセットします。リセット後、原点復帰運転などを実行し、原点を再設定してください。
5. 現在発生中のアラームをリセットします。
6. ワーニング履歴をクリアします。
7. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
9. 前回表示していた画面に切り換えます。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
11. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- モニタ関係のデータを読み出すための実行トリガの制御にプロジェクトスクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.21 マニュアル表示(B-30500)

**概要**

表示中の言語に対応したマニュアルを表示します。

**詳細**

1. マニュアル表示は、言語に応じてそれぞれドキュメント ID 201～203 のドキュメントを表示します。画面初回表示時は 1 ページ目を表示します。ドキュメント上をタッチした状態で 8 方向にフリックするとドキュメントを 8 方向にスクロール表示します。ドキュメントの端が表示されている状態でフリックすると、ページを切り換えます。ピンチアウト・ピンチインすると、大・中・小の 3 段階で、ドキュメントが切り換わります。
2. 表示しているドキュメントを操作します。
   : 表示しているドキュメントを拡大/縮小します。
   : 表示しているドキュメントを左右にスクロールします。
   : 表示しているドキュメントを上下にスクロールします。
3. 表示しているドキュメントのページを操作します。
   P. 1 : 表示しているドキュメントのページ数を表示します。数値をタッチするとページ番号を変更できます。
   : 表示しているドキュメントをページ送り/ページ戻しします。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ マニュアル表示のドキュメントは表示言語切り換えに追従します。コメントグループ列 No.と言語、ドキュメント ID は下表のように対応しています。

| コメントグループ列 No. | 言語 | ドキュメント ID |
|---|---|---|
| 1 | 日本語 | 201 |
| 2 | 英語 | 202 |
| 3 | 中国語(簡体) | 203 |

・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてドキュメントページ No.に「1」、およびドキュメント ID に「201」を設定しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ ページ送りスイッチはオブジェクトスクリプトにて総ページ数を超えないようにしています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ マニュアル表示用のドキュメントデータは、お客様で作成してください。詳細については、「7.マニュアル表示について」を参照してください。
・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

## 6.3.22 テスト マルチ運転(B-31022～31025)

### 概要

複数軸のモーターのテスト運転をします。

### 詳細

1. モーターのテスト運転を実行する軸を選択します。
2. 各軸スイッチをタッチすることで、その軸のテスト運転ができます。
3. 発生中のアラームを表示します。
4. 各軸のテスト運転を実行します。

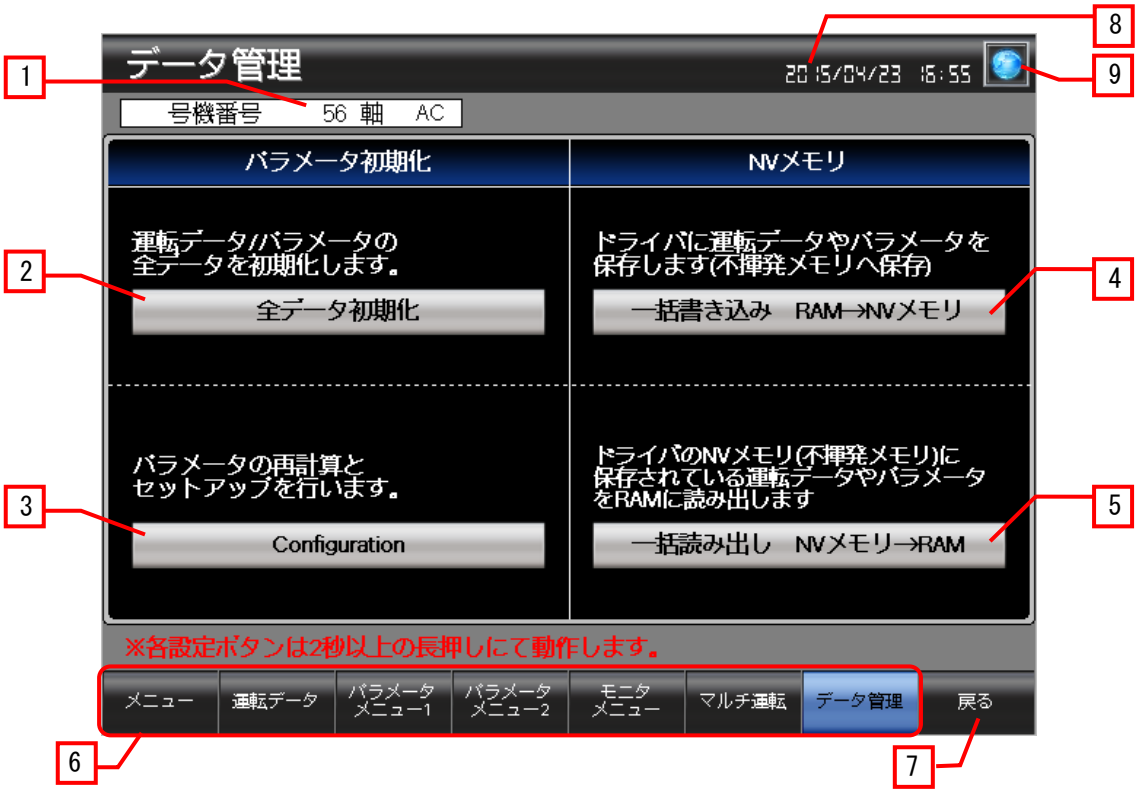
| | |
|---|---|
| データ No. | : 運転データ No. を選択します。 |
| ◀ ▶ | : スイッチを押している間、正転・逆転の連続運転をします。<br>運転データ No. 0～7 で選択した No. の運転速度、加速、減速になります。<br>上記以外の運転データ No. を選択中は動作しません。 |
| − + | : モーターの位置を調整します。<br>運転パラメータの「JOG 移動量」で設定した移動量分だけ動作します。 |
| 停止 | : 運転中のモーターを停止します。 |
| 位置決め運転 | : 運転データ No. で選択した No. で位置決め運転を実行します。 |
| 位置プリセット | : 指令位置を任意の値にプリセットします。プリセットする値は、パラメータ 座標「プリセット位置」の項目で変更できます。 |
| 原点復帰運転 | : 原点復帰運転を開始します。 |
| アラームリセット | : 発生しているアラームをリセットします。 |

5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・モニタ関係のデータを読み出すための実行トリガの制御にプロジェクトスクリプトを使用しています。また、操作対象局の設定フラグをシーケンサへの通知と、読み出しと書き込み時に表示するダイアログウィンドウの制御、インターロックの設定は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・テスト運転で、加速、減速が選択した運転データの設定に変わるのは、加減速選択パラメータの設定が独立になっている時のみとなります。
・テスト運転中は他画面に切り換えることや号機番号の変更はできません。
・＋ボタン、－ボタンで、モーターの位置を調整させるために、運転データ No.63 の設定値をラダーで変更しています。運転データ No.63 は、このサンプル画面では、ご利用できません。
・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.23 システム データ管理(B-31030)




**概要**

ドライバの初期化、Configuration、運転データやパラメータの保存、読み出しをします。

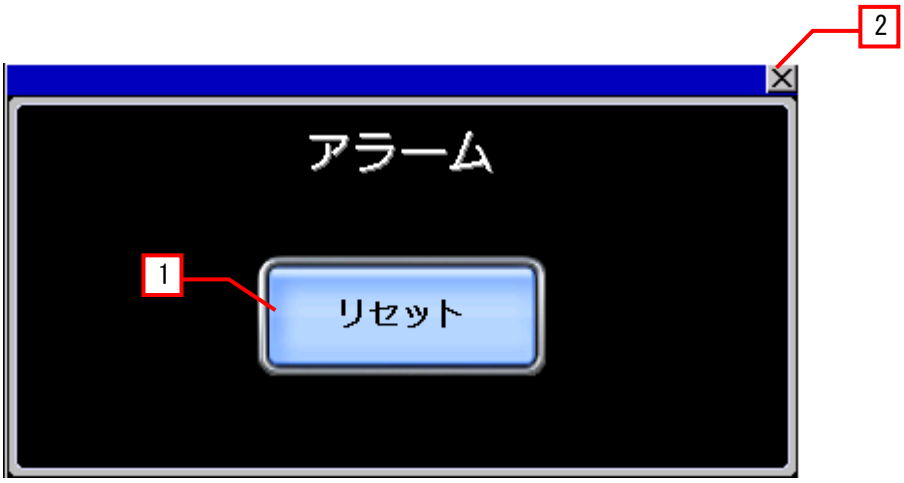
**詳細**

1. データ管理するドライバの号機番号を表示します。タッチすると、軸切り換えウィンドウを表示します。
2. ドライバの NV メモリに保存されている、運転データやパラメータを全て初期化します。
3. ソフトウェアリセットが実行されます。パラメータによってはソフトウェアリセットを実行しないと反映されないものもあります。
4. RAM に保存されている運転データやパラメータを NV メモリに保存します。
5. NV メモリに保存されている運転データやパラメータを RAM に読み出します。
6. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
7. 前回表示していた画面に切り換えます。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- 全てのスイッチ操作は 2 秒以上長押しで実行します。
- 「Configuration」コマンドを実行すると、一瞬モーターの励磁が切れますので、上下軸などでお使いの場合はご注意をお願いします。また、一瞬モーターの励磁が切れて、再励磁するため位置ずれが発生します。位置精度を求める場合は、Configuration」コマンドを操作した直後に、原点復帰運転を実行することをお勧めします。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 6.3.24 アラームリセット(W-30001)




**概要**

システムアラームをリセットします。

**詳細**

1. システムアラームをリセットし、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

### 6.3.25 言語設定(W-30002)

**概要**

GOT で表示する言語を選択します。

**詳細**

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・ 表示言語にあわせてシステム言語とマニュアル表示のドキュメント ID も切り換える設定をしています。

### 6.3.26 時計設定(W-30003)

**概要**

GOT の時計データを変更します。

**詳細**

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を ▼▲ スイッチで設定します。▼▲ スイッチは、長押しすると連続で増減します。
   リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。

### 6.3.27 軸切り換え(W-30004)

**概要**

号機選択と電源タイプを切り換えます。

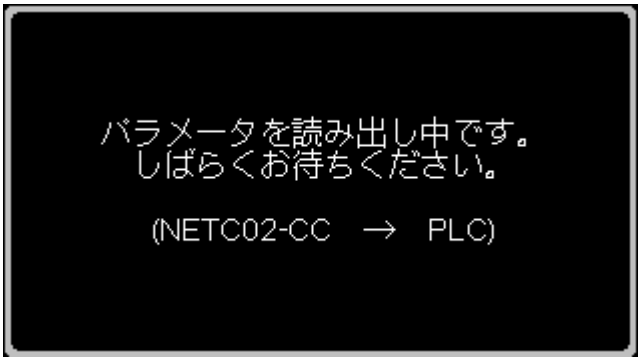
**詳細**

1. モニタする号機を選択します。
2. モニタする号機のドライバの電源タイプを指定します。
3. 設定を反映せずに、ウィンドウ画面を閉じます。
4. 設定を反映し、ウィンドウを閉じます。号機選択、電源タイプの選択がされてない場合は、スイッチをタッチしても動作しません。

**備考**

- 号機番号を切り換えた際にパラメータを自動で読み出す処理はプロジェクトスクリプトを使用しています。号機選択、電源タイプの設定は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「6.6 スクリプト一覧」を参照してください

### 6.3.28 読み出し中ダイアログ(W-30010)




**概要**

運転データやパラメータを読み出し中にダイアログウィンドウを表示します。

**詳細**

**備考**

### 6.3.29 書き込み中ダイアログ(W-30011)

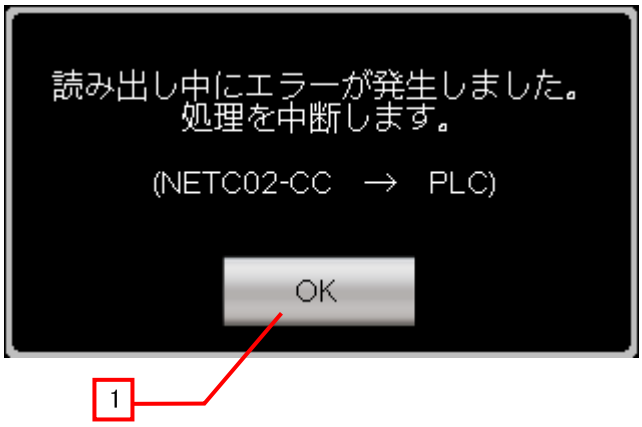
**概要**

運転データやパラメータの書き込み中にダイアログウィンドウを表示します。

**詳細**

**備考**

### 6.3.30 読み出しエラーダイアログ(W-30012)




**概要**

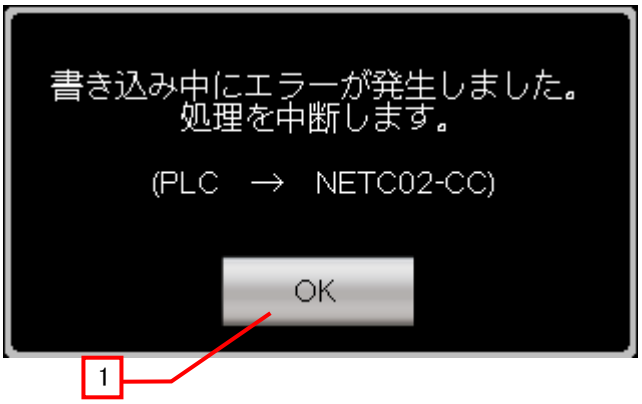
運転データやパラメータを読み出し中にエラーが発生した場合、表示します。

**詳細**

1. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

### 6.3.31 書き込みエラーダイアログ(W-30013)




**概要**

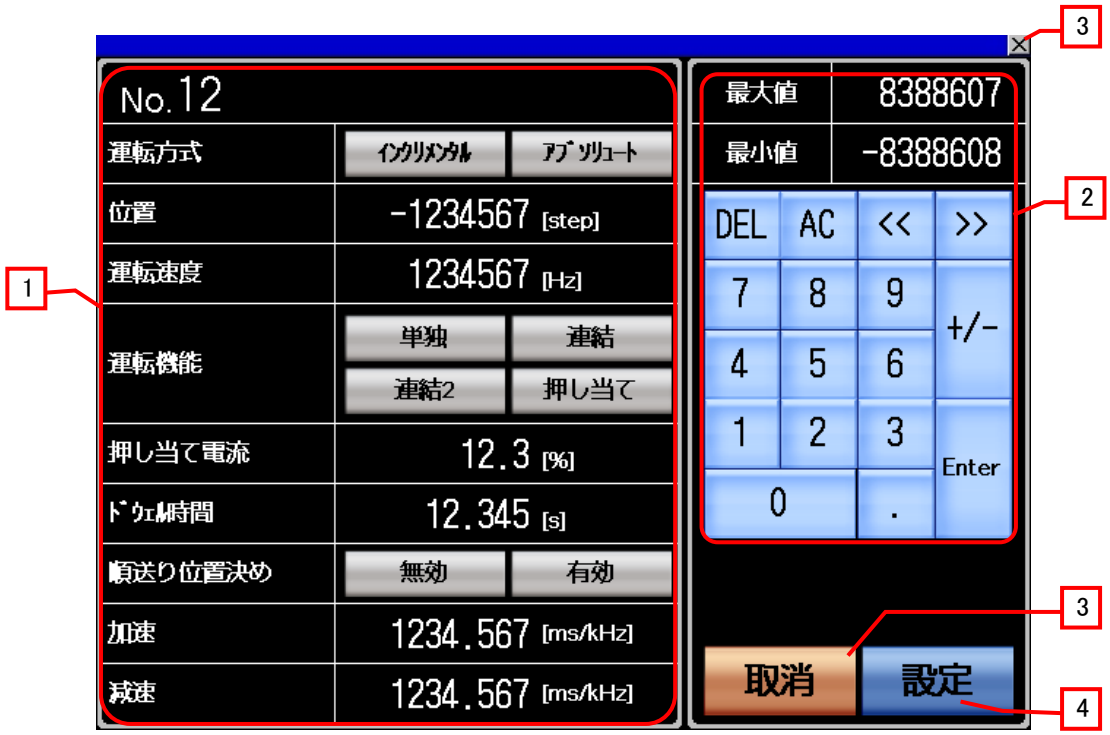
運転データやパラメータを書き込み中にエラーが発生した場合、表示します。

**詳細**

1. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

### 6.3.32 運転データ入力(W-32001)




**概要**

運転データを表示、編集します。

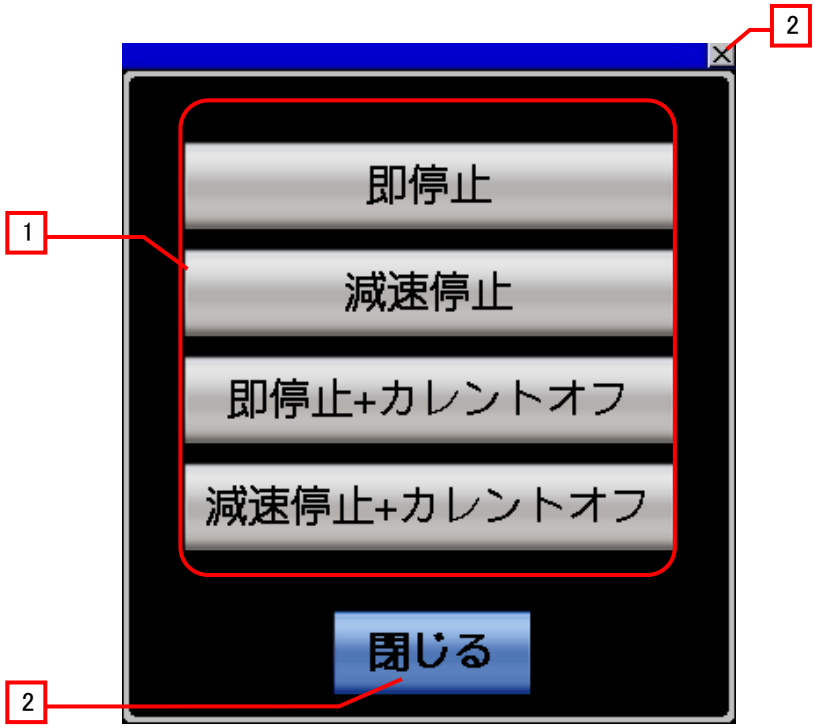
**詳細**

1. 運転データを表示、編集します。
2. 入力用テンキーです。
3. 編集したデータを反映せずに、ウィンドウ画面を閉じます。
4. 編集したデータを反映し、ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・運転データの入力エリア初期化は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。

### 6.3.33 STOP 入力停止方法(W-32002)




**概要**

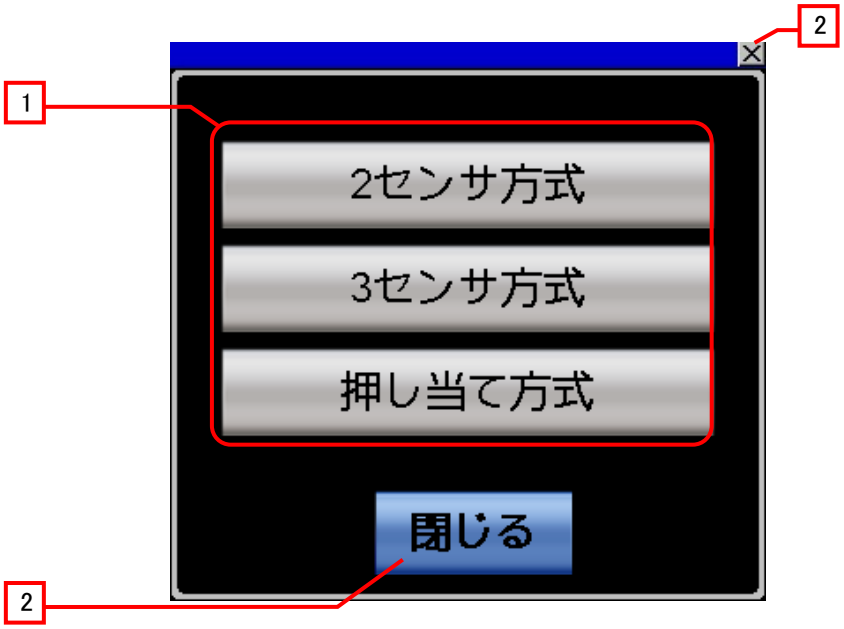
STOP 入力停止方法の設定内容を表示、設定します。

**詳細**

1. STOP 入力停止方法の設定内容を表示、設定します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

### 6.3.34 原点復帰方法(W-32003)




**概要**

原点復帰方法の設定内容を表示、設定します。

**詳細**

1. 原点復帰方法の設定内容を表示、設定します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

### 6.3.35 IN 入力機能選択(W-32004)

**概要**

IN 入力機能選択の設定内容を表示、設定します。

**詳細**

1. IN 入力機能選択の設定内容を表示、設定します。
2. 設定を反映せずに、ウィンドウ画面を閉じます。
3. 設定を反映し、ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・設定内容のパラメータ画面への反映は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。

### 6.3.36 NET-IN 入力機能選択(W-32005)

**概要**

NET-IN 入力機能選択の設定内容を表示、設定します。

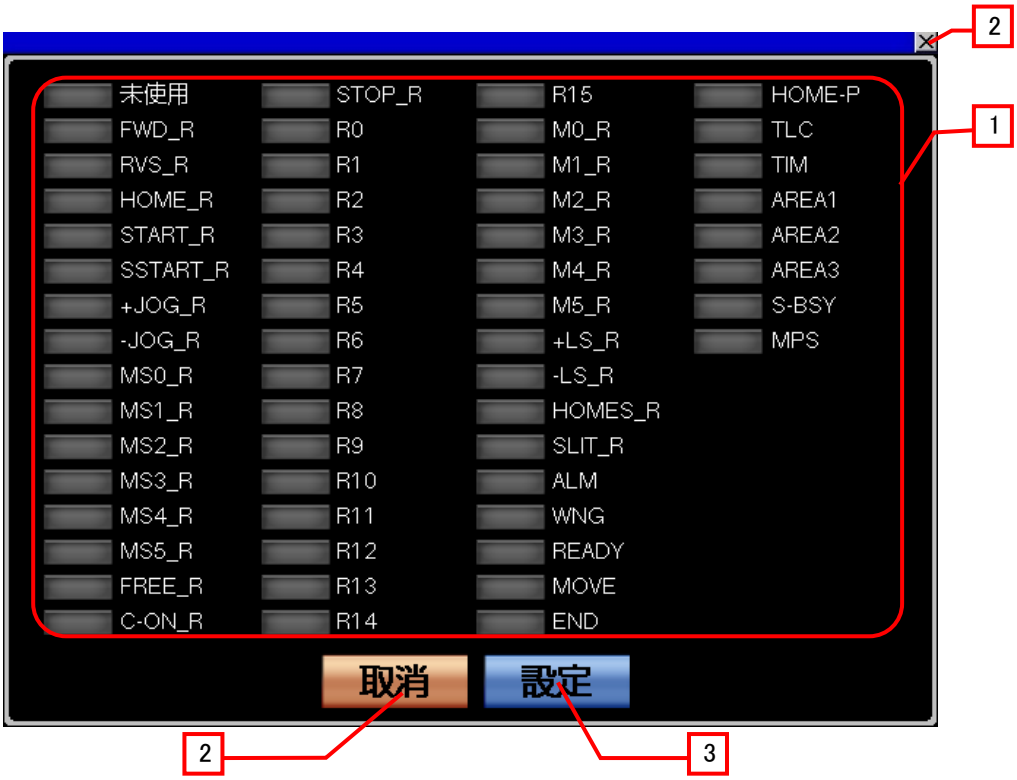
**詳細**

1. NET-IN 入力機能選択の設定内容を表示、設定します。
2. 設定を反映せずに、ウィンドウ画面を閉じます。
3. 設定を反映し、ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・設定内容のパラメータ画面への反映は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。

## 6.3.37 OUT/NET-OUT 出力機能選択(W-32006)




### 概要

OUT/NET-OUT 出力機能選択の設定内容を表示、設定します。

### 詳細

1. OUT/NET-OUT 出力機能選択の設定内容を表示、設定します。
2. 設定を反映せずに、ウィンドウ画面を閉じます。
3. 設定を反映し、ウィンドウ画面を閉じます。

### 備考

・MPS については電源タイプが AC の場合のみ設定可能です。
・設定内容のパラメータ画面への反映は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「6.6 スクリプト一覧」を参照してください。

## 6.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

### 6.4.1 接続機器のデバイス

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ビット | M1000 | 運転データ 読み出しトリガ |
| | M1002 | FB(DataRead)の異常検知デバイス |
| | M1003 | FB(DataWrite)の異常検知デバイス |
| | M1004 | 運転データ画面 テスト運転 実行トリガ |
| | M1005 | 運転データ 設定値変更トリガ |
| | M1006 | 最小移動量値 書込み完了フラグ |
| | M1007 | 運転データ画面 原点復帰運転 実行トリガ |
| | M1008 | 運転データ画面 位置確定 実行トリガ |
| | M1010 | パラメータ I/O 読み出し実行トリガ |
| | M1011 | パラメータ I/O 書き込み実行トリガ |
| | M1015 | パラメータモーター 読み出し実行トリガ |
| | M1016 | パラメータモーター 書き込み実行トリガ |
| | M1020 | パラメータ運転 読み出し実行トリガ |
| | M1021 | パラメータ運転 書き込み実行トリガ |
| | M1025 | パラメータ原点復帰 読み出し実行トリガ |
| | M1026 | パラメータ原点復帰 書き込み実行トリガ |
| | M1030 | パラメータアラーム&ワーニング 読み出し実行トリガ |
| | M1031 | パラメータアラーム&ワーニング 書き込み実行トリガ |
| | M1035 | パラメータ座標 読み出し実行トリガ |
| | M1036 | パラメータ座標 書き込み実行トリガ |
| | M1040 | パラメータ共通 読み出し実行トリガ |
| | M1041 | パラメータ共通 書き込み実行トリガ |
| | M1045 | パラメータ I/O 機能読み出し実行トリガ |
| | M1046 | パラメータ I/O 機能書き込み実行トリガ |
| | M1050 | パラメータ I/O 機能 RS-485 読み出し実行トリガ |
| | M1051 | パラメータ I/O 機能 RS-485 書き込み実行トリガ |
| | M1055 | パラメータ通信 読み出し実行トリガ |
| | M1056 | パラメータ通信 書き込み実行トリガ |
| | M1065 | 絶対位置異常アラームのリセットトリガ |
| | M1066 | アラームのリセットトリガ |
| | M1067 | 履歴クリアトリガ |
| | M1068 | アラーム履歴クリアフラグ |
| | M1069 | ワーニング履歴クリアフラグ |
| | M1070 | 00 軸～03 軸テスト運転フラグ |
| | M1071 | 04 軸～07 軸テスト運転フラグ |
| | M1072 | 08 軸～11 軸テスト運転フラグ |
| | M1073 | 12 軸～15 軸テスト運転フラグ |
| | M1075 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸テスト運転 実行トリガ |
| | M1076 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸テスト運転 実行トリガ |
| | M1077 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸テスト運転 実行トリガ |
| | M1078 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸テスト運転 実行トリガ |
| | M1100 | ダイアログウィンドウ表示フラグ |
| | M1101 | 読み出しフラグ |
| | M1102 | 書き込みフラグ |
| | M1103 | FB 実行状態リセットトリガ |
| | M1110 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸連続運転 実行トリガ |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ビット | M1111 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸連続運転 逆転フラグ |
| | M1112 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸連続運転 正転フラグ |
| | M1113 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸 JOG 運転 実行トリガ |
| | M1114 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸 JOG 運転 逆転フラグ |
| | M1115 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸 JOG 運転 正転フラグ |
| | M1116 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸位置決め運転 実行トリガ |
| | M1117 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸位置プリセット 実行トリガ |
| | M1118 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸位置原点復帰運転 実行トリガ |
| | M1119 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸位置アラームリセット 実行トリガ |
| | M1120 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸連続運転 実行トリガ |
| | M1121 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸連続運転 逆転フラグ |
| | M1122 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸連続運転 正転フラグ |
| | M1123 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸 JOG 運転 実行トリガ |
| | M1124 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸 JOG 運転 逆転フラグ |
| | M1125 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸 JOG 運転 正転フラグ |
| | M1126 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸位置決め運転 実行トリガ |
| | M1127 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸位置プリセット 実行トリガ |
| | M1128 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸位置原点復帰運転 実行トリガ |
| | M1129 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸位置アラームリセット 実行トリガ |
| | M1130 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸連続運転 実行トリガ |
| | M1131 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸連続運転 逆転フラグ |
| | M1132 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸連続運転 正転フラグ |
| | M1133 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸 JOG 運転 実行トリガ |
| | M1134 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸 JOG 運転 逆転フラグ |
| | M1135 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸 JOG 運転 正転フラグ |
| | M1136 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸位置決め運転 実行トリガ |
| | M1137 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸位置プリセット 実行トリガ |
| | M1138 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸位置原点復帰運転 実行トリガ |
| | M1139 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸位置アラームリセット 実行トリガ |
| | M1140 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸連続運転 実行トリガ |
| | M1141 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸連続運転 逆転フラグ |
| | M1142 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸連続運転 正転フラグ |
| | M1143 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸 JOG 運転 実行トリガ |
| | M1144 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸 JOG 運転 逆転フラグ |
| | M1145 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸 JOG 運転 正転フラグ |
| | M1146 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸位置決め運転 実行トリガ |
| | M1147 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸位置プリセット 実行トリガ |
| | M1148 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸位置原点復帰運転 実行トリガ |
| | M1149 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸位置アラームリセット 実行トリガ |
| | M1150 | 全データ初期化トリガ |
| | M1151 | Configuration 実行トリガ |
| | M1152 | NV メモリー括書き込みトリガ |
| | M1153 | NV メモリー括読み出しトリガ |
| | M1200 | 運転データ画面 位置決め運転 実行トリガ |
| | M1201 | 運転データ画面 連続運転 実行トリガ |
| | M1202 | 運転データ画面 連続運転 正転フラグ |
| | M1203 | 運転データ画面 連続運転 逆転フラグ |
| | M1204 | 運転データ画面 JOG 運転 実行トリガ |
| | M1205 | 運転データ画面 JOG 運転 正転フラグ |
| | M1206 | 運転データ画面 JOG 運転 逆転フラグ |
| | M1210 | 運転データ画面 位置プリセット 実行トリガ |
| | M1220 | モニタ FB 実行指令オフ通知 |
| | M1230 | STOP 指令フラグ |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ビット | M1231 | 運転データ画面 STOP 指令トリガ |
| | M1235 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸 STOP 指令トリガ |
| | M1236 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸 STOP 指令トリガ |
| | M1237 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸 STOP 指令トリガ |
| | M1238 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸 STOP 指令トリガ |
| | M1240 | 運転データ画面 運転中インターロック |
| | M1241 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸 運転中インターロック |
| | M1242 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸 運転中インターロック |
| | M1243 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸 運転中インターロック |
| | M1244 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸 運転中インターロック |
| | D2546.b0 | I/O モニタ +LS |
| | D2546.b1 | I/O モニタ -LS |
| | D2546.b2 | I/O モニタ HOMES |
| | D2546.b3 | I/O モニタ SLIT |
| | D2546.b6 | I/O モニタ IN0 |
| | D2546.b7 | I/O モニタ IN1 |
| | D2546.b8 | I/O モニタ IN2 |
| | D2546.b9 | I/O モニタ IN3 |
| | D2546.b10 | I/O モニタ IN4 |
| | D2546.b11 | I/O モニタ IN5 |
| | D2546.b12 | I/O モニタ IN6 |
| | D2546.b13 | I/O モニタ IN7 |
| | D2547.b0 | I/O モニタ OUT0 |
| | D2547.b1 | I/O モニタ OUT1 |
| | D2547.b2 | I/O モニタ OUT2 |
| | D2547.b3 | I/O モニタ OUT3 |
| | D2547.b4 | I/O モニタ OUT4 |
| | D2547.b5 | I/O モニタ OUT5 |
| | D3862.b0 | ハードウェアオーバートラベル |
| | D3864.b0 | オーバートラベル動作 |
| | D3884.b0 | LS 接点設定 |
| | D3886.b0 | HOMES 接点設定 |
| | D3888.b0 | SLIT 接点設定 |
| | D3902.b0 | HOME-P 出力機能選択 |
| | D3924.b0 | フィルタ選択 |
| | D3930.b0 | 制御モード |
| | D3932.b0 | スムースドライブ |
| | D3952.b0 | 加減速選択 |
| | D3954.b0 | 加減速単位 |
| | D3956.b0 | 自動復帰動作 |
| | D3980.b0 | 原点復帰開始方向 |
| | D3982.b0 | 原点復帰 SLIT センサ検出 |
| | D3984.b0 | 原点復帰 TIM 信号検出 |
| | D3994.b0 | 原点復帰未完了アラーム |
| | D4014.b0 | モーター回転方向 |
| | D4016.b0 | ソフトウェアオーバーラベル |
| | D4024.b0 | ラウンド設定 |
| | D4030.b0 | データ設定器速度表示 |
| | D4032.b0 | データ設定器編集 |
| | D4034.b0 | アブソリュートバックアップシステム |
| | D4056.b0 | IN0 入力接点設定 |
| | D4058.b0 | IN1 入力接点設定 |
| | D4060.b0 | IN2 入力接点設定 |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ビット | D4062.b0 | IN3 入力接点設定 |
| | D4064.b0 | IN4 入力接点設定 |
| | D4066.b0 | IN5 入力接点設定 |
| | D4068.b0 | IN6 入力接点設定 |
| | D4070.b0 | IN7 入力接点設定 |
| ワード | D350 | 表示中ベース画面番号通知デバイス |
| | D800 | 号機番号入力 |
| | D810 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸 アラーム |
| | D812 | 00 軸、04 軸、08 軸、12 軸 指令位置 |
| | D814 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸 アラーム |
| | D816 | 01 軸、05 軸、09 軸、13 軸 指令位置 |
| | D818 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸 アラーム |
| | D820 | 02 軸、06 軸、10 軸、14 軸 指令位置 |
| | D822 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸 アラーム |
| | D824 | 03 軸、07 軸、11 軸、15 軸 指令位置 |
| | D900 | 入力値対象 No.オフセット値(ワード用) |
| | D901 | 入力値対象 No.オフセット値(ダブルワード用) |
| | D910 | ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D920 | 00 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D922 | 01 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D924 | 02 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D926 | 03 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D928 | 04 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D930 | 05 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D932 | 06 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D934 | 07 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D936 | 08 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D938 | 09 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D940 | 10 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D942 | 11 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D944 | 12 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D946 | 13 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D948 | 14 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D950 | 15 軸ティーチング操作用運転データ No.指定デバイス |
| | D960 | 運転データ用アラームコード格納デバイス |
| | D1000+2n(n=0～62) | 位置 No.0～No.62 |
| | D1128+2n(n=0～62) | 運転速度 No.0～No.62 |
| | D1256+2n(n=0～62) | 運転方式 No.0～No.62 |
| | D1384+2n(n=0～62) | 運転機能 No.0～No.62 |
| | D1512+2n(n=0～62) | 加速 No.0～No.62 |
| | D1640+2n(n=0～62) | 減速 No.0～No.62 |
| | D1768+2n(n=0～62) | 押し当て No.0～No.62 |
| | D1896+2n(n=0～62) | 順送り No.0～No.62 |
| | D2024+2n(n=0～62) | ドウェル No.0～No.62 |
| | D2254 | 加減速単位 |
| | D2340+2n(n=0～7) | IN0～IN7 入力機能選択 |
| | D2372+2n(n=0～5) | OUT0～OUT5 出力機能選択 |
| | D2470 | 現在アラーム |
| | D2472+2n(n=0～9) | アラーム履歴 1～10 |
| | D2492 | 現在ワーニング |
| | D2494+2n(n=0～9) | ワーニング履歴 1～10 |
| | D2534 | 現在の選択データ No. |
| | D2536 | 現在の運転データ No. |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ワード | D2538 | 現在位置 |
| | D2540 | 指令速度 |
| | D2542 | フィードバック位置 |
| | D2544 | フィードバック速度 |
| | D2700+2n(n=0～62) | 位置 No.0～No.62(書き込み用) |
| | D2828+2n(n=0～62) | 運転速度 No.0～No.62(書き込み用) |
| | D2956+2n(n=0～62) | 運転方式 No.0～No.62(書き込み用) |
| | D3084+2n(n=0～62) | 運転機能 No.0～No.62(書き込み用) |
| | D3212+2n(n=0～62) | 加速 No.0～No.62(書き込み用) |
| | D3340+2n(n=0～62) | 減速 No.0～No.62(書き込み用) |
| | D3468+2n(n=0～62) | 押し当て No.0～No.62(書き込み用) |
| | D3596+2n(n=0～62) | 順送り No.0～No.62(書き込み用) |
| | D3724+2n(n=0～62) | ドウェル No.0～No.62(書き込み用) |
| | D3860 | STOP 入力停止方法(書き込み用) |
| | D3866 | 位置決め完了出力幅(書き込み用) |
| | D3868 | 位置決め完了出力オフセット(書き込み用) |
| | D3870 | AREA1 +方向位置(書き込み用) |
| | D3872 | AREA1 -方向位置(書き込み用) |
| | D3874 | AREA2 +方向位置(書き込み用) |
| | D3876 | AREA2 -方向位置(書き込み用) |
| | D3878 | AREA3 +方向位置(書き込み用) |
| | D3880 | AREA3 -方向位置(書き込み用) |
| | D3882 | MOVE 出力最小時間(書き込み用) |
| | D3890 | MS0 運転 No.選択(書き込み用) |
| | D3892 | MS1 運転 No.選択(書き込み用) |
| | D3894 | MS2 運転 No.選択(書き込み用) |
| | D3896 | MS3 運転 No.選択(書き込み用) |
| | D3898 | MS4 運転 No.選択(書き込み用) |
| | D3900 | MS5 運転 No.選択(書き込み用) |
| | D3910 | RUN 電流(書き込み用) |
| | D3912 | STOP 電流(書き込み用) |
| | D3914 | 位置ループゲイン(書き込み用) |
| | D3916 | 速度ループゲイン(書き込み用) |
| | D3918 | 速度ループ積分時定数(書き込み用) |
| | D3920 | 速度フィルタ(書き込み用) |
| | D3922 | 移動平均時間(書き込み用) |
| | D3926 | 速度差ゲイン 1(書き込み用) |
| | D3928 | 速度差ゲイン 2(書き込み用) |
| | D3940 | 共通加速(書き込み用) |
| | D3942 | 共通減速(書き込み用) |
| | D3944 | 起動速度(書き込み用) |
| | D3946 | JOG 運転速度(書き込み用) |
| | D3948 | JOG 加減速(書き込み用) |
| | D3950 | JOG 起動速度(書き込み用) |
| | D3958 | 自動復帰運転速度(書き込み用) |
| | D3960 | 自動復帰加減速(書き込み用) |
| | D3962 | 自動復帰起動速度(書き込み用) |
| | D3964 | JOG 移動量(書き込み用) |
| | D3970 | 原点復帰方法(書き込み用) |
| | D3972 | 原点復帰運転速度(書き込み用) |
| | D3974 | 原点復帰加減速(書き込み用) |
| | D3976 | 原点復帰起動速度(書き込み用) |
| | D3978 | 原点復帰オフセット(書き込み用) |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ワード | D3986 | 押し当て原点復帰運転電流(書き込み用) |
| | D3990 | 過負荷アラーム(書き込み用) |
| | D3992 | カレントオン時位置偏差過大アラーム(書き込み用) |
| | D3996 | カレントオフ時位置偏差過大アラーム(書き込み用) |
| | D3998 | 過熱ワーニング(書き込み用) |
| | D4000 | 過負荷ワーニング(書き込み用) |
| | D4002 | 過速度ワーニング(書き込み用) |
| | D4004 | 過電圧ワーニング(書き込み用) |
| | D4006 | 不足電圧ワーニング(書き込み用) |
| | D4008 | カレントオン時位置偏差過大ワーニング(書き込み用) |
| | D4010 | 電子ギヤ A(書き込み用) |
| | D4012 | 電子ギヤ B(書き込み用) |
| | D4018 | +ソフトウェアリミット(書き込み用) |
| | D4020 | -ソフトウェアリミット(書き込み用) |
| | D4022 | プリセット位置(書き込み用) |
| | D4026 | ラウンド設定範囲(書き込み用) |
| | D4040+2n(n=0～7) | IN0～IN7 入力機能選択(書き込み用) |
| | D4072+2n(n=0～5) | OUT0～OUT5 出力機能選択(書き込み用) |
| | D4090+2n(n=0～15) | NET-IN0～NET-IN15 入力機能選択(書き込み用) |
| | D4122+2n(n=0～15) | NET-OUT0～NET-OUT15 出力機能選択(書き込み用) |
| | D4160 | 通信タイムアウト(書き込み用) |
| | D4162 | 通信異常アラーム(書き込み用) |

### 6.4.2 GOT の内部デバイス

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ビット | GB40 | 常時 ON |
| | GB60001 | 位置データのオフセット値格納スクリプトトリガ |
| | GB60002 | 画面遷移インターロックフラグ |
| | GB61000 | 状態フラグ |
| | GB61001 | 号機選択状態フラグ |
| | GB61002 | 電源タイプ状態フラグ |
| | GB61010 | 電源タイプ判別フラグ |
| | GB61020 | 号機番号切り換え時自動読出しトリガ |
| | GB62000 | 入力エリア初期化フラグ |
| | GB62002 | タッチ位置判定用スクリプトトリガ |
| | GB62004 | I/O 機能選択の書込みトリガ |
| | GB62005 | OUT/NET-OUT 区別ビット |
| | GB62006 | オーバーラップウィンドウ表示中フラグ |
| | GD60031.b13 | アラームリセット |
| | GD60082.b15 | 最大ページ数表示フラグ |
| | GS512.b0 | 時刻変更信号 |
| ワード | GD60000 | ベース画面切り換え |
| | GD60001 | オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え |
| | GD60004 | オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え |
| | GD60009 | ダイアログウィンドウ画面切り換え |
| | GD60021 | 言語切り換え |
| | GD60022 | システム言語切り換え |
| | GD60031、GD60041 | システム情報 |
| | GD60042 | 現在カーソル表示ユーザ ID |
| | GD60043 | 表示中ベース画面番号 |
| | GD60080 | ドキュメント ID |
| | GD60081 | ページ No. |
| | GD60082 | 最終ページ No.通知デバイス |
| | GD60990 | 表示中ベース画面番号バックアップ |
| | GD61001 | 号機番号 |
| | GD61002 | 電源タイプ指定 |
| | GD61011 | 運転データのタッチ位置格納デバイス |
| | GD61012 | 運転データ表示用オフセットデバイス |
| | GD61015 | IN 入力の信号番号 |
| | GD61016 | IN 入力機能選択の一時保存デバイス |
| | GD61018 | OUT 出力の信号番号 |
| | GD61019 | OUT/NET-OUT 出力機能選択の一時保存デバイス |
| | GD61021 | NET-IN 入力の信号番号 |
| | GD61022 | NET-IN 入力機能選択の一時保存デバイス |
| | GD61024 | NET-OUT 出力の信号番号 |
| | GD61050 | 号機番号比較用デバイス |
| | GD62500 | 位置データのオフセット値 |
| | GD63000 | 運転データ入力ウィンドウの号機番号 |
| | GD63001 | 運転データ入力ウィンドウのオフセットデバイス |
| | GD63990～GD63995 | 時計のデジスイッチ |
| | GS513～GS516 | 変更時刻 |
| | GS650～GS652 | 現在時刻 |
| | TMP950～TMP996 | スクリプト演算用 |

## 6.5 コメント一覧

| コメントグループ No. | コメント No. | 使用箇所 |
|---|---|---|
| 497 | No.1～240 | B-31015、B-31018、B-31019 |
| 498 | No.1～60 | B-31012、B-31013、B-31016、W-32004、W-32005 |
| 499 | No.1～90 | B-31012、B-31013、B-31016、W-32006 |
| 500 | No.1、2 | B-30002～B-30006、B-30500～B-31030 |
| | No.3 | B-30002、B-30003 |
| | No.4 | B-30002、B-30004 |
| | No.5 | B-30002、B-30005 |
| | No.7 | B-30002 |
| | No.8 | B-30001 |
| | No.9～13 | B-30003、B-31004～B-31008 |
| | No.14～16、18 | B-30004、B-31010～B-31014 |
| | No.17 | B-30004 |
| | No.19～20 | B-30005、B-30500、B-31015～B-31019 |
| | No.22～23 | B-30005 |
| | No.25～26 | B-30006、B-31020～B-31025 |
| | No.27 | B-30003～B-30006、B-31002、B-31010～B-31014、B-31030 |
| | No.28 | B-30003～B-30006、B-31002～B-31008、B-31030 |
| | No.29～31 | B-30003～B-30006、B-31002、B-31030 |
| | No.32～33 | B-31004～B-31008 |
| | No.34 | B-31010～B-31014 |
| | No.36 | B-30003～B-30005、B-30500～B-31019、B-31030 |
| | No.37 | B-30005、B-30500 |
| | No.38～40 | B-30500、B-31015～B-31019 |
| | No.50～51 | B-30001～B-30006、B-31002～B-31019、B-31030 |
| | No.100～132 | B-31002 |
| | No.150～187 | B-31004 |
| | No.200～220 | B-31005 |
| | No.250～271 | B-31006 |
| | No.300～318 | B-31007 |
| | No.350～364 | B-31008 |
| | No.400～415 | B-31010 |
| | No.450～459 | B-31011 |
| | No.500～526 | B-31012 |
| | No.550～584 | B-31013 |
| | No.600～604 | B-31014 |
| | No.650～660 | B-31015 |
| | No.700～703 | B-31016 |
| | No.800～806 | B-31018 |
| | No.850～856 | B-31019 |
| | No.1000～1014、1031、1046 | B-31022～B-31025 |
| | No.1015～1018 | B-31022 |
| | No.1019～1022 | B-31023 |
| | No.1023～1026 | B-31024 |
| | No.1027～1030 | B-31025 |
| | No.1050～1064 | B-31030 |
| | No.1100～1101 | W-30001 |
| | No.1150 | W-30002 |
| | No.1200～1208 | W-30003 |
| | No.1250～1284 | W-30004 |
| | No.1300～1334 | W-32001 |

| コメントグループ No. | コメント No. | 使用箇所 |
|---|---|---|
| 500 | No.1350～1354 | W-32002 |
| | No.1400～1403 | W-32003 |
| | No.1450～1451 | W-32004～W-32006 |
| | No.1500 | W-30010 |
| | No.1510 | W-30011 |
| | No.1520 | W-30012 |
| | No.1530 | W-30013 |

## 6.6 スクリプト一覧

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| プロジェクトスクリプト | 有り |
| 画面スクリプト | B-30500、B-31002～B-31014、B-31016、B-31022～B-31025、W-30004、W-32001、W-32004～W-32006 |
| オブジェクトスクリプト | B-30500、W-30003 |

### 6.6.1 プロジェクトスクリプト

| スクリプト No. | 30001 | スクリプト名 | Script30001 |
|---|---|---|---|
| コメント | 初期設定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |

```
//初期設定を行うスクリプトです
//このスクリプトは GOT 起動時に 1 回だけ動作します

[w:GD60080]=201; //ドキュメント ID に 201 を設定
[w:GD60081]=1;    //ドキュメントページNo.に 1 を設定

[w:D800] = 0;     // スレーブ(ドライバ)号機番号の初期値(局番切り換えの番号)
[w:GD61050] = 0; //号機番号比較デバイスの初期値
[w:GD61001] = 0xFF;    //画面切り換えウィンドウの軸選択デバイスの初期値
```

| スクリプト No. | 30003 | スクリプト名 | Script30003 |
|---|---|---|---|
| コメント | モニタフラグ制御 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |

```
//ベース画面毎にモニタ用 FB の実行トリガを制御するスクリプトです

//GD60043 : 表示中ベース画面番号
//GD60990 : 表示中ベース画面番号バックアップ
//M1220 : モニタ FB 実行指令オフ通知
//D350      : 表示中ベース画面番号通知デバイス

//表示中画面番号が切り換わった時
if([u16:GD60990] != [u16:GD60043]) {
    [u16:GD60990] = [u16:GD60043]; //バックアップのデバイスに表示中ベース画面番号を格納
    [w:D350] = [u16:GD60043]; //シーケンサに表示中ベース画面番号を通知する
  //ベース画面の番号に応じて処理が異なる
  switch([w:GD60043]){
    case 31002:    //ベース画面 31002 運転データの場合
      rst([b:M1220]);
      break;
    case 31015:    //ベース画面 31015 モニタ ステータスの場合
      rst([b:M1220]);
      break;
    case 31016:    //ベース画面 31016 モニタ I/O モニタの場合
```

```
        rst([b:M1220]);
        break;
      case 31018:    //ベース画面 31018 モニタ アラーム履歴の場合
        rst([b:M1220]);
        break;
      case 31019:    //ベース画面 31019 モニタ ワーニング履歴の場合
        rst([b:M1220]);
        break;
      default:          //その他の画面の場合
        set([b:M1220]);  //モニタ FB 実行指令オフ通知
        break;
  }
}
```

| スクリプト No. | 30004 | スクリプト名 | Script30004 |
|---|---|---|---|
| コメント | 号機切り換え時自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB61020 |

```
//号機番号切り換え時に各画面においてパラメータ等の読み出しを行うスクリプトです。

//[w:GD61050] :号機番号比較用デバイス

//シーケンサデバイスの号機番号と比較用デバイスが一致した場合
if([w:GD61050] == [w:D800]){
  //各表示中画面番号に応じて読み出しトリガを立てる
  switch([w:GD60043]){
    case 31002:
      set([b:M1000]); //運転データ読出しトリガをセット
      break;
    case 31004:
      set([b:M1010]); //I/O パラメータ読出しトリガをセット
      break;
    case 31005:
      set([b:M1015]); //モーターパラメータ読出しトリガをセット
      break;
    case 31006:
      set([b:M1020]); //運転パラメータ読出しトリガをセット
      break;
    case 31007:
      set([b:M1025]); //原点復帰パラメータ読出しトリガをセット
      break;
    case 31008:
      set([b:M1030]); //アラーム&ワーニングパラメータ読出しトリガをセット
      break;
    case 31010:
      set([b:M1035]); //座標パラメータ読出しトリガをセット
      break;
    case 31011:
      set([b:M1040]); //共通パラメータ読出しトリガをセット
      break;
    case 31012:
      set([b:M1045]); //I/O 機能パラメータ読出しトリガをセット
      break;
    case 31016:
      set([b:M1045]); //I/O 機能パラメータ読出しトリガをセット
      break;
    case 31013:
      set([b:M1050]); //リモート I/O パラメータ読出しトリガをセット
```

```
        break;
      case 31014:
        set([b:M1055]); //通信パラメータ読出しトリガをセット
        break;
   }
   rst([b:GB61020]); //このスクリプトの起動トリガを終了する
}
```

| スクリプト No. | 30103 | スクリプト名 | Script30103 |
|---|---|---|---|
| コメント | ダイアログを閉じる | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | OFF 中 M1100 |

```
//ダイアログウィンドウを閉じるスクリプト
[w:GD60009] = 0;
```

### 6.6.2 画面スクリプト

**ベース画面 30500**

| スクリプト No. | 30002 | スクリプト名 | Script30002 |
|---|---|---|---|
| コメント | ドキュメント表示の最終ページの処理 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
//総ページ数が 0 でないことを確認
if([w:GD60082]!=0){
 //現在ページ数が総ページ数を超えているか比較する
 if([w:GD60081]>[w:GD60082]){
  //表示するページを最終ページに設定する
  [w:GD60081]=[w:GD60082];
 }
};
```

**ベース画面 31002**

| スクリプト No. | 30101 | スクリプト名 | Script30101 |
|---|---|---|---|
| コメント | 運転データ自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |

```
//画面遷移時に該当画面に応じたデータの読出しを行うスクリプト

set([b:M1000]); //運転データ読出しトリガを ON
```

| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
|---|---|---|---|
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |

```
//各処理中にダイアログウィンドウを表示するスクリプト
//[b:M1002] : FB(DataRead)の異常検知デバイス
//[b:M1003] : FB(DataWrite)の異常検知デバイス

//運転データ読出しみ中にダイアログウィンドウを表示する
if([b:M1101]){

   //異常検知デバイスの状態に応じて表示するダイアログウィンドウを切り換える
   if([b:M1002]==OFF){
      [w:GD60009] = 30010; //読出し中ダイアログウィンドウを表示する
   }else{
      [w:GD60009] = 30012; //読出し中エラーダイアログウィンドウを表示する
   }
}

//運転データ書込み中にダイアログウィンドウを表示する
if([b:M1102]){
```

```
  //異常検知デバイスの状態に応じて表示するダイアログウィンドウを切り換える
  if([b:M1003] == 0){
    [w:GD60009] = 30011; //書込み中ダイアログウィンドウを表示する
  }else{
    [w:GD60009] = 30013; //書込み中エラーダイアログウィンドウを表示する
  }
}
```

| スクリプト No. | 30104 | スクリプト名 | Script30104 |
|---|---|---|---|
| コメント | 運転データ入力用タッチ位置検出 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB62002 |

```
// 運転データのタッチ位置と現在表示している運転データ No.のオフセットを元に入力用のオフセット値を算出するスクリプト

//GD61011: 運転データのタッチ位置格納デバイス
//GD61012: 運転データ表示用オフセットデバイス

//入力値のオフセット値を算出
[w:GD63000] = [w:GD61011] + (2 * [w:GD61012]);

//選択された運転データ No.の値を算出
[w:GD63001] = ([w:GD61011] /2) + [w:GD61012];

//ダブルワード単位でのオフセットをおこなうため、入力用オフセット値をシーケンサへ通知
[w:D901] = [w:GD63000];

//ワード単位でのオフセットをおこなうため、入力用オフセット値を 2 で割った値をシーケンサへ通知
[w:D900] = [w:GD63000]/2;

[b:GB62002] = 0;    // このスクリプトの起動トリガを終了する
```

| スクリプト No. | 30107 | スクリプト名 | Script30107 |
|---|---|---|---|
| コメント | 位置データのオフセット値格納 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB60001 |

```
//ティーチング操作の位置データ表示用オフセット値の算出を行うスクリプト

//[w:GD62500] : 位置データのオフセット値
//[w:D910]      : 運転データ No.指定デバイス

//位置データはダブルワードのため、オフセット値は運転データ No.の 2 倍で計算する
[w:GD62500] = [w:D910] * 2;
```

**ベース画面 31004**

| スクリプト No. | 30110 | スクリプト名 | Script30110 |
|---|---|---|---|
| コメント | I/O パラメータ自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |

```
//画面遷移時にデータの読出しを自動的に行うスクリプト

set([b:M1010]); //I/O パラメータの読出しトリガを ON
```

| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
|---|---|---|---|
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |

ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。

**ベース画面 31005**

| スクリプト No. | 30115 | スクリプト名 | Script30115 |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| コメント | モーターパラメータ自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //画面遷移時にデータの読出しを自動的に行うスクリプト<br><br>set([b:M1015]); //モーターパラメータの読出しトリガを ON | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31006**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30120 | スクリプト名 | Script30120 |
| コメント | 運転パラメータ自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //画面遷移時にデータの読出しを自動的に行うスクリプト<br><br>set([b:M1020]); //運転パラメータの読出しトリガを ON | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31007**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30125 | スクリプト名 | Script30125 |
| コメント | 原点復帰パラメータ自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //画面遷移時にデータの読出しを自動的に行うスクリプト<br><br>set([b:M1025]); //原点復帰パラメータの読出しトリガを ON | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31008**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30130 | スクリプト名 | Script30130 |
| コメント | アラーム&ワーニング自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //画面遷移時にデータの読出しを自動的に行うスクリプト<br><br>set([b:M1030]); //アラーム&ワーニングパラメータの読出しトリガを ON | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31010**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30135 | スクリプト名 | Script30135 |
| コメント | 座標パラメータ自動読出し | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //画面遷移時にデータの読出しを自動的に行うスクリプト<br><br>set([b:M1035]); //座標パラメータの読出しトリガを ON | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31011**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30140 | スクリプト名 | Script30140 |
| コメント | 共通パラメータ自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //画面遷移時にデータの読出しを自動的に行うスクリプト<br><br>set([b:M1040]); //共通パラメータの読出しトリガを ON | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31012、31016**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30145 | スクリプト名 | Script30145 |
| コメント | I/O 自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //画面遷移時にデータの読出しを自動的に行うスクリプト<br><br>set([b:M1045]); //I/O 機能パラメータの読出しトリガを ON | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31013**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30150 | スクリプト名 | Script30150 |
| コメント | リモート I/O 自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //画面遷移時にデータの読出しを自動的に行うスクリプト<br><br>set([b:M1050]); //リモート I/O パラメータの読出しトリガを ON | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31014**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30155 | スクリプト名 | Script30155 |
| コメント | 通信パラメータ自動読出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| //画面遷移時にデータの読出しを自動的に行うスクリプト<br><br>set([b:M1055]); //通信パラメータの読出しトリガを ON | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31022**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30200 | スクリプト名 | Script30200 |
| コメント | 操作対象局 00 軸～03 軸 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //各対象軸を切り換えるためのスクリプト<br><br>//有効な軸を切り換えます<br>set([b:M1070]); //00～03 軸を有効<br>rst([b:M1071]); //04～07 軸を無効<br>rst([b:M1072]); //08～11 軸を無効<br>rst([b:M1073]); //12～15 軸を無効 | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |
| スクリプト No. | 30201 | スクリプト名 | Script30201 |
| コメント | インターロック設定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| //テスト運転中は画面遷移を防止するためにインターロックを設定する<br><br>//各軸のうちどれか 1 つでもテスト運転を実行していた場合<br>if([b:M1075] \|\| [b:M1076] \|\| [b:M1077] \|\| [b:M1078]){<br>set([b:GB60002]);//画面切り換えのインターロックを ON<br>}else{<br>rst([b:GB60002]);//画面切り換えのインターロックを OFF<br>} | | | |

**ベース画面 31023**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30205 | スクリプト名 | Script30205 |
| コメント | 操作対象局 04～07 軸 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //各対象軸を切り換えるためのスクリプト<br><br>//有効な軸を切り換えます<br>rst([b:M1070]); //00～03 軸を無効<br>set([b:M1071]); //04～07 軸を有効<br>rst([b:M1072]); //08～11 軸を無効<br>rst([b:M1073]); //12～15 軸を無効 | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |
| スクリプト No. | 30201 | スクリプト名 | Script30201 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| コメント | インターロック設定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| ベース画面 31022 のスクリプト No.30201 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31024**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30210 | スクリプト名 | Script30210 |
| コメント | 操作対象局 08～11 軸 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //各対象軸を切り換えるためのスクリプト<br><br>//有効な軸を切り換えます<br>rst([b:M1070]);　//00～03 軸を無効<br>rst([b:M1071]);　//04～07 軸を無効<br>set([b:M1072]);　//08～11 軸を有効<br>rst([b:M1073]);　//12～15 軸を無効 | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |
| スクリプト No. | 30201 | スクリプト名 | Script30201 |
| コメント | インターロック設定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| ベース画面 31022 のスクリプト No.30201 と同じです。 | | | |

**ベース画面 31025**

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 30215 | スクリプト名 | Script30215 |
| コメント | 操作対象局 12～15 軸 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //各対象軸を切り換えるためのスクリプト<br><br>//有効な軸を切り換えます<br>rst([b:M1070]);　//00～03 軸を無効<br>rst([b:M1071]);　//04～07 軸を無効<br>rst([b:M1072]);　//08～11 軸を無効<br>set([b:M1073]);　//12～15 軸を有効 | | | |
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | ダイアログ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 M1100 |
| ベース画面 31002 のスクリプト No.30102 と同じです。 | | | |
| スクリプト No. | 30201 | スクリプト名 | Script30201 |
| コメント | インターロック設定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| ベース画面 31022 のスクリプト No.30201 と同じです。 | | | |

**ウィンドウ画面 30004**

| スクリプト No. | 30100 | スクリプト名 | Script30100 |
|---|---|---|---|
| コメント | 軸切り換え | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 画面を閉じる時 |

```
//軸切り換えのデータをダミーデバイスから各デバイスに展開する

//設定スイッチが押された時
if([b:GB61000] == ON){
  //軸のダミーデバイスから軸デバイスへ代入する
  [w:D800] = [w:GD61001];

  //電源タイプによってパラメータの表示内容を切り換える
  if([w:GD61002] == 1){
    [b:GB61010] = OFF;
  }
  if([w:GD61002] == 2){
    [b:GB61010] = ON;
  }
}

//軸切り換えウィンドウで格納した値をリセットする
[w:GD61001]=0xFF;
[w:GD61002]=0;
rst([b:GB61000]);
rst([b:GB61001]);
rst([b:GB61002]);
```

**ウィンドウ画面 32001**

| スクリプト No. | 30105 | スクリプト名 | Script30105 |
|---|---|---|---|
| コメント | 入力エリア初期化 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB62000 |

```
//運転データ入力ウィンドウを表示時に、読出しエリアの値を書き込みエリアに転送して初期化する

[w:D2700[w:GD63000]] = [w:D1000[w:GD63000]]; //位置
[w:D2828[w:GD63000]] = [w:D1128[w:GD63000]];   //運転速度
[w:D2956[w:GD63000]] = [w:D1256[w:GD63000]];   //運転方式
[w:D3084[w:GD63000]] = [w:D1384[w:GD63000]];   //運転機能
[w:D3212[w:GD63000]] = [w:D1512[w:GD63000]];   //加速
[w:D3340[w:GD63000]] = [w:D1640[w:GD63000]];   //減速
[w:D3468[w:GD63000]] = [w:D1768[w:GD63000]];   //押し当て電流
[w:D3596[w:GD63000]] = [w:D1896[w:GD63000]]; //順送り位置決め
[w:D3724[w:GD63000]] = [w:D2024[w:GD63000]];   //ドウェル時間

[b:GB62000] = 0; // このスクリプトの起動トリガを終了する
```

**ウィンドウ画面 32004**

| スクリプト No. | 30146 | スクリプト名 | Script30146 |
|---|---|---|---|
| コメント | IN データ設定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB62004 |

```
// IN の機能選択をドライバに書き込むスクリプト

// [u16:GD61015]  :  IN 入力の信号番号
// [u32:GD61016]  :  IN 入力機能選択の一時保存デバイス

switch([u16:GD61015]){
```

```
   case 0: [u32:D4040] = [u32:GD61016];    // IN0 入力機能選択の設定
        break;
   case 1: [u32:D4042] = [u32:GD61016];    // IN1 入力機能選択の設定
        break;
   case 2: [u32:D4044] = [u32:GD61016];    // IN2 入力機能選択の設定
        break;
   case 3: [u32:D4046] = [u32:GD61016];    // IN3 入力機能選択の設定
        break;
   case 4: [u32:D4048] = [u32:GD61016];    // IN4 入力機能選択の設定
        break;
   case 5: [u32:D4050] = [u32:GD61016];    // IN5 入力機能選択の設定
        break;
   case 6: [u32:D4052] = [u32:GD61016];    // IN6 入力機能選択の設定
        break;
   case 7: [u32:D4054] = [u32:GD61016];    // IN7 入力機能選択の設定
        break;
}

[b:GB62004] = 0; // このスクリプトの起動トリガを終了する
[w:GD60004] = 0; // オーバーラップウィンドウの終了
```

**ウィンドウ画面 32005**

| スクリプト No. | 30151 | スクリプト名 | Script30151 |
|---|---|---|---|
| コメント | NET-IN データ設定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB62004 |

```
// NET-IN の機能選択をドライバに書き込むスクリプト

// [u16:GD61021]  :  NET-IN 入力の信号番号
// [u32:GD61022]  :  NET-IN 入力機能選択の一時保存デバイス

switch([u16:GD61021]){
   case 0  : [u32:D4090] = [u32:GD61022];  // NET-IN0 入力機能選択の設定
          break;
   case 1  : [u32:D4092] = [u32:GD61022];  // NET-IN1 入力機能選択の設定
          break;
   case 2  : [u32:D4094] = [u32:GD61022];  // NET-IN2 入力機能選択の設定
          break;
   case 3  : [u32:D4096] = [u32:GD61022];  // NET-IN3 入力機能選択の設定
          break;
   case 4  : [u32:D4098] = [u32:GD61022];  // NET-IN4 入力機能選択の設定
          break;
   case 5  : [u32:D4100] = [u32:GD61022];  // NET-IN5 入力機能選択の設定
          break;
   case 6  : [u32:D4102] = [u32:GD61022];  // NET-IN6 入力機能選択の設定
          break;
   case 7  : [u32:D4104] = [u32:GD61022];  // NET-IN7 入力機能選択の設定
          break;
   case 8  : [u32:D4106] = [u32:GD61022];  // NET-IN8 入力機能選択の設定
          break;
   case 9  : [u32:D4108] = [u32:GD61022];  // NET-IN9 入力機能選択の設定
          break;
   case 10: [u32:D4110] = [u32:GD61022];// NET-IN10 入力機能選択の設定
          break;
   case 11: [u32:D4112] = [u32:GD61022];// NET-IN11 入力機能選択の設定
        break;
   case 12: [u32:D4114] = [u32:GD61022];// NET-IN12 入力機能選択の設定
```

```
        break;
  case 13: [u32:D4116] = [u32:GD61022];// NET-IN13 入力機能選択の設定
        break;
  case 14: [u32:D4118] = [u32:GD61022];// NET-IN14 入力機能選択の設定
        break;
  case 15: [u32:D4120] = [u32:GD61022];// NET-IN15 入力機能選択の設定
        break;
}

[b:GB62004] = 0; // このスクリプトの起動トリガを終了する
[w:GD60004] = 0; // オーバーラップウィンドウの終了
```

**ウィンドウ画面 32005**

| スクリプト No. | 30147 | スクリプト名 | Script30147 |
|---|---|---|---|
| コメント | OUT/NET-OUT データ設定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB62004 |

```
// OUT、NET-OUT の機能選択をドライバに書き込むスクリプト

// [b:GB62005] : OUT と NET-OUT と区別するビット(1：OUT、0：NET-OUT)
// [u16:GD61018] : OUT 出力の信号番号
// [u16:GD61024] : NET-OUT 出力の信号番号
// [u16:GD61019] : OUT/NET-OUT 出力機能選択の一時保存デバイス

if([b:GB62005] == 1){       // OUT 出力機能選択時
  switch([u16:GD61018]){
  case 0: [u32:D4072] = [u32:GD61019];     // OUT0 出力機能選択の設定
       break;
  case 1: [u32:D4074] = [u32:GD61019];     // OUT1 出力機能選択の設定
       break;
  case 2: [u32:D4076] = [u32:GD61019];     // OUT2 出力機能選択の設定
       break;
  case 3: [u32:D4078] = [u32:GD61019];     // OUT3 出力機能選択の設定
       break;
  case 4: [u32:D4080] = [u32:GD61019];     // OUT4 出力機能選択の設定
       break;
  case 5: [u32:D4082] = [u32:GD61019];     // OUT5 出力機能選択の設定
       break;
  }
} else {                  // NET-OUT 出力機能選択時
  switch([u16:GD61024]){
  case 0 : [u32:D4122] = [u32:GD61019];  // NET-OUT0 出力機能選択の設定
        break;
  case 1 : [u32:D4124] = [u32:GD61019];  // NET-OUT1 出力機能選択の設定
          break;
  case 2 : [u32:D4126] = [u32:GD61019];  // NET-OUT2 出力機能選択の設定
        break;
  case 3 : [u32:D4128] = [u32:GD61019];  // NET-OUT3 出力機能選択の設定
        break;
  case 4 : [u32:D4130] = [u32:GD61019];  // NET-OUT4 出力機能選択の設定
        break;
  case 5 : [u32:D4132] = [u32:GD61019];  // NET-OUT5 出力機能選択の設定
        break;
  case 6 : [u32:D4134] = [u32:GD61019];  // NET-OUT6 出力機能選択の設定
        break;
  case 7 : [u32:D4136] = [u32:GD61019];  // NET-OUT7 出力機能選択の設定
        break;
```

```
   case 8  : [u32:D4138] = [u32:GD61019];   // NET-OUT8 出力機能選択の設定
          break;
   case 9  : [u32:D4140] = [u32:GD61019];   // NET-OUT9 出力機能選択の設定
          break;
   case 10: [u32:D4142] = [u32:GD61019];// NET-OUT10 出力機能選択の設定
          break;
   case 11: [u32:D4144] = [u32:GD61019];// NET-OUT11 出力機能選択の設定
          break;
   case 12: [u32:D4146] = [u32:GD61019];// NET-OUT12 出力機能選択の設定
          break;
   case 13: [u32:D4148] = [u32:GD61019];// NET-OUT13 出力機能選択の設定
          break;
   case 14: [u32:D4150] = [u32:GD61019];// NET-OUT14 出力機能選択の設定
          break;
   case 15: [u32:D4152] = [u32:GD61019];// NET-OUT15 出力機能選択の設定
          break;
   }
}

[b:GB62004] = 0; // このスクリプトの起動トリガを終了する
[w:GD60004] = 0; // オーバーラップウィンドウの終了
```

### 6.6.3 オブジェクトスクリプト

**ベース画面 30500**

| オブジェクト | スイッチ | オブジェクト ID *1 | 20042 |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | デバイス書き込み時 |

```
//ページ数がドキュメントの総ページ数を超えないようにします。
if([u16:GD60081] >= [u16:GD60082]){
   [u16:GD60081] = [u16:GD60082] - 1;
}
```

**ウィンドウ画面 30003**

| オブジェクト | 数値表示 | オブジェクト ID *1 | 10035 |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 立上り　GB40 |

```
//時計データより本日の年月を取得
[w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12;//桁合せ
[w:TMP968] = [w:TMP960] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] +  [w:TMP961];//TMP973 に年を BIN でセット
[w:GD63990] = [w:TMP973];//年をセット

[w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の 10 の位を取得
[w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4;//桁合せ
[w:TMP969] = [w:TMP962] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の 1 の位を取得
[w:TMP974] = [w:TMP969] +  [w:TMP953];//TMP974 に月を BIN でセット
[w:GD63991] = [w:TMP974];//月をセット

[w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12;//桁合せ
[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP975] =[w:TMP970] +  [w:TMP964];//TMP975 に日を BIN でセット
[w:GD63992] = [w:TMP975];//日をセット

[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の 10 の位を取得
[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4;//桁合せ
[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の 1 の位を取得
[w:TMP976] = [w:TMP971] +  [w:TMP957];//TMP976 に時を BIN でセット
[w:GD63993] = [w:TMP976];//時をセット

[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000;//設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12;//桁合せ
[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00;//設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP977] =[w:TMP972] +  [w:TMP967];//TMP977 に分を BIN でセット
[w:GD63994] = [w:TMP977];//分をセット

[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0;//設定用時計データより秒の 10 の位を取得
[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4;//桁合せ
[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の 1 の位を取得
[w:TMP978] = [w:TMP996] +  [w:TMP994];//TMP978 に秒を BIN でセット
[w:GD63995] = [w:TMP978];//秒をセット
```

| オブジェクト | 数値表示 | オブジェクト ID *1 | 10036 |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 2 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
// BIN -> BCD 変換
```

```
[w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000;// 年の下 2 桁

[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10);  // 年 BIN -> BCD
[w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10);  // 月 BIN -> BCD
[w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10);  // 日 BIN -> BCD
[w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10);  // 時 BIN -> BCD
[w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10);  // 分 BIN -> BCD
[w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10);  // 秒 BIN -> BCD
```

| オブジェクト | 数値表示 | オブジェクト ID *1 | 10037 |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 3 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
// 年月設定

[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981];  // 変更時刻デバイスに年月セット
```

| オブジェクト | 数値表示 | オブジェクト ID *1 | 10032 |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 4 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
// 日時設定

[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983];  // 変更時刻デバイスに日時セット
```

| オブジェクト | 数値表示 | オブジェクト ID *1 | 10033 |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 5 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
// 分秒設定

[w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985];  // 変更時刻デバイスに分秒セット
```

| オブジェクト | 数値表示 | オブジェクト ID *1 | 10034 |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 6 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
// 曜日設定

[w:TMP986] = [w:GD63990];  //年(BIN)
[w:TMP987] = [w:GD63991];  //月(BIN)
[w:TMP988] = [w:GD63992];  //日(BIN)

if(([w:TMP987] == 1) || ([w:TMP987] == 2)){//1･2 月の場合のみ前年の 13･14 月として計算するための
補正処理
   [w:TMP986] =[w:TMP986] - 1; //年から 1 を減算
   [w:TMP987] =[w:TMP987] + 12;//月に 12 を加算
}

[w:TMP989] = [w:TMP986]/4;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP990] = [w:TMP986]/100;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP991] = [w:TMP986]/400;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5;//ツェラーの公式に必要な項を作成

//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット
[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;
```

*1 オブジェクト ID は画面流用時に変更される場合があります。

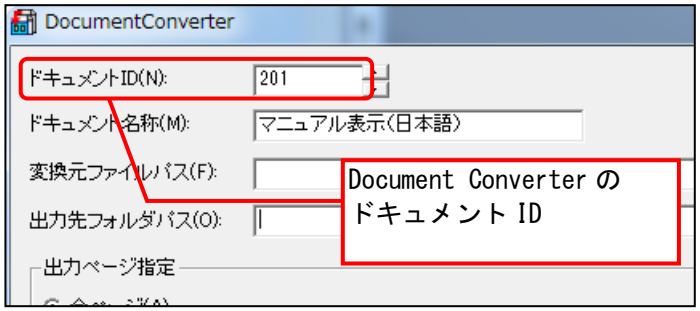
## 7. マニュアル表示について

マニュアル表示は、ドキュメント表示機能を使用して表示しています。ドキュメント表示機能の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。ドキュメント表示機能は言語切り換えに非対応のため、サンプル画面では選択した表示言語にあわせてドキュメント ID を変更することで、ドキュメントの言語切り換えを実現しています。

### 7.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備

例：ベース画面 B-30500：マニュアル表示に日本語のマニュアル(ドキュメント)を表示する場合

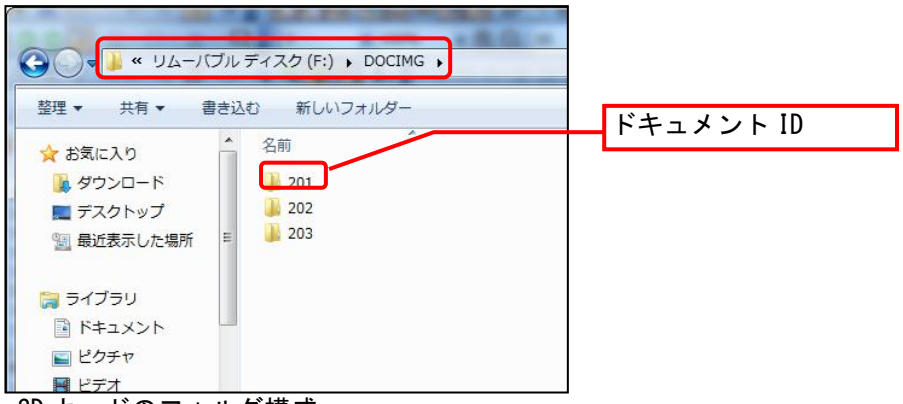
(1) 表示するマニュアル(Word や Excel など)を Document Converter を使用してドキュメント表示機能用のドキュメントデータ(JPEG ファイル)に変換します。Document Converter の[ドキュメント ID]に 201 を設定します。
*ドキュメント ID と表示言語の対応は下記表を参照してください。




| コメントグループ列 No. | 言語 | ドキュメント ID |
|---|---|---|
| 1 | 日本語 | 201 |
| 2 | 英語 | 202 |
| 3 | 中国語(簡体) | 203 |

*Document Converter は 2.09K 以降のバージョンを使用してください。2.08J 以前のバージョンでは総ページ数とページ切り換えスイッチが正しく動作しません。

(2) ドキュメントデータは DOCIMG フォルダの 201 フォルダ内に生成されます。DOCIMG フォルダ以下のフォルダ構成は変更せずに、DOCIMG フォルダごと SD カードのルートディレクトリに保存してください。



SD カードのフォルダ構成

備考：総ページ数が 100 ページ以上の場合
本サンプルは総ページ数が 99 ページまでのドキュメントを想定しています。100 ページ以上の場合は、
総ページ数および現在表示中ページ番号の表示を行う数値表示の書式文字列(#の数)を修正してください。

# 8. その他

## 8.1 ラダープログラム

サンプル画面ではオリエンタルモーター社製ネットワークコンバータ NETCO2-CC 用 FB を使用したラダープログラムを使用しています。FB ではシーケンサに装着された CC-Link ユニットの先頭入出力番号とネットワークコンバータの CC-Link 局番を指定しています。また、リモート I/O の STOP 信号を制御するために、リモート出力に設定しているデバイスを直接操作しています。システム構成に合わせてラダープログラムを変更してください。

(1) CC-Link ユニットの先頭入出力番号とネットワークコンバータの CC-Link 局番

(2) リモート I/O の STOP 信号制御